

---

---

# 団塊世代の暮らしと介護に関する 意識・実態調査 報告書

---

---



2022年3月  
高齢社会をよくする女性の会・大阪

# 目次

|                      |    |
|----------------------|----|
| はじめに                 | 1  |
| 【調査実施概要】             | 2  |
| I アンケート調査結果          |    |
| 1. 回答者の属性            | 3  |
| 2. 介護観について           | 5  |
| 3. 介護保険の知識           | 9  |
| 4. 人生のしまい方           | 11 |
| II 自由記述              | 13 |
| III 考察               |    |
| 1. 介護保険法・制度の知識       | 17 |
| 2. 人生のしまい方の認識        | 18 |
| 3. ジェンダーの観点          | 19 |
| IV アンケートから見えてきたこと    |    |
| 1. 介護労働者の処遇の改善とジェンダー | 21 |
| 2. まとめ               | 22 |
| おわりに                 | 23 |
| 【資料】                 |    |
| 1. 調査票               | 24 |
| 2. 集計データ             | 27 |

# はじめに

「高齢社会をよくする女性の会・大阪」は、1993年5月に発足し、超高齢社会の到来にむけて介護の社会化を願い、介護保険制度の導入に対しても積極的な働きかけをしてきました。

2000年に介護保険制度が発足後、「ホームヘルプ利用者調査」「ホームヘルパー就労実態調査」をはじめ、介護する・介護される当事者として、介護保険制度の問題を中心に時機に応じた調査・研究活動と政策提言などを重ねてきました。

介護保険制度の施行から20年を経過し、度重なる制度改定で、当初の理念（社会的介護、自己決定、保険料の応能負担とサービス利用料の応益負担、尊厳ある介護）が損なわれつつあります。

私たちは介護保険発足当時から制度設計の根底に介護を「アンペイドワーク」としての家事労働という意識があると考え、当事者対象の「介護保険制度の“生活援助”に関するアンケート調査」を2013年度に行いました。そして、2015年度にはこの調査結果から明確になった“生活援助や介護問題に潜むジェンダー問題”など、今後の介護保険のあり方についてのヒアリング調査を、当事者（要介護認定者・介護経験者・介護従事者・介護保険被保険者：男女ほぼ半数ずつ）を対象に行いました。

また、2014年の「介護保険法改正」によって、要支援の人の“生活援助サービス”などが介護保険サービスから市町村事業になり、独居高齢者・高齢夫婦世帯の増加により大きな問題となりました。この状況を受けて、当会が実行委員として担った2017年度「介護問題ホットライン事業」、2018年度「介護と人権の共同調査事業」の結果は、介護保険サービス利用に際し、高齢者自身が選択するのではなく、家族や親戚に頼っておまかせの傾向がみられました。この結果、団塊世代が後期高齢者になる2025年の社会保障財源問題を理由にした社会保障制度の見直しが行われてきた状況を踏まえ、団塊世代が「介護保険制度」をどのように捉えているかについて、調査をする必要性を感じ、計画しました。

この調査では、介護に関する当事者性や要介護状態になっても住み慣れた地域で自己選択・自己決定が尊重される暮らしを継続するための介護保険制度に対する適切な理解や認識が重要であると考えました。この調査結果を、介護保険に関する当事者からの政策提言につなげていきます。

この調査は、「大阪市ボランティア活動振興基金助成事業」の2021年度助成を受けて実施しました。実は、2020年度の同事業の助成を決定いただき実施する予定でしたが、コロナ禍の中での実施が困難と判断し助成を辞退しました。今年度の再申請に対し、助成いただきましたことに感謝申し上げます。

2022年3月

高齢社会をよくする女性の会・大阪

代表 植本 眞砂子

# 【調査実施概要】

## 1 調査の方法

- ◆ 120人の会員が身近な家族・友人・知人・地域でのつながりなどを通じて、郵送・手渡しなどで調査票を配付・回収した。会員が友人・知人とその友人・知人に広げる、いわゆる雪だるま方式で実施した。一部、協力団体の集まりでの配付・回収もあった。
- ◆ 調査対象となる会員も当事者として参加し、回答した。
- ◆ QRコードを作成し、オンラインでの回答も可能にした。

## 2 調査対象者

- ◆ 団塊世代の方（この調査では、1946年～1950年に生まれた方）。  
但し、介護保険法施行（2000年）以後に介護専門職を経験された方や、現在介護専門職の方は、介護保険のことをよくご存じと思われるので対象から除外した。
- ◆ 大阪府内在住者、大阪府内在勤者、一部近畿地域などに住む方を対象にした。全国からはホームページでの回答も可能。
- ◆ 調査票配付にあたって男女比率には一定の配慮をした。

## 3 調査票設計の基本的考え方

設問項目は①介護保険制度の理解、②自分の希望するサービスの種類、③権利意識、④生き方の自己決定とした。

## 4 調査票の配付・回収期間

2021年8月～9月

## 5 回収枚数

回収数は428通。有効回答数は387通（オンライン回答90通を含む）

## 6 集計作業と集計方法

- ◆ 委託事業者にコンピュータ入力・集計を依頼。
- ◆ 小数点第2位を四捨五入しているため、100%にならない場合がある。

## 7 調査票の作成、分析にあたって名古屋学芸大学 看護学部看護学科の石田路子教授の指導・助言を得た。

# I アンケート調査結果

## グラフについて

- ・ n = 設問についての回答者数 (母数)
- ・ 割合 (%) は小数点第 2 位を四捨五入とした
- ・ 巻末資料の集計データを参照ください

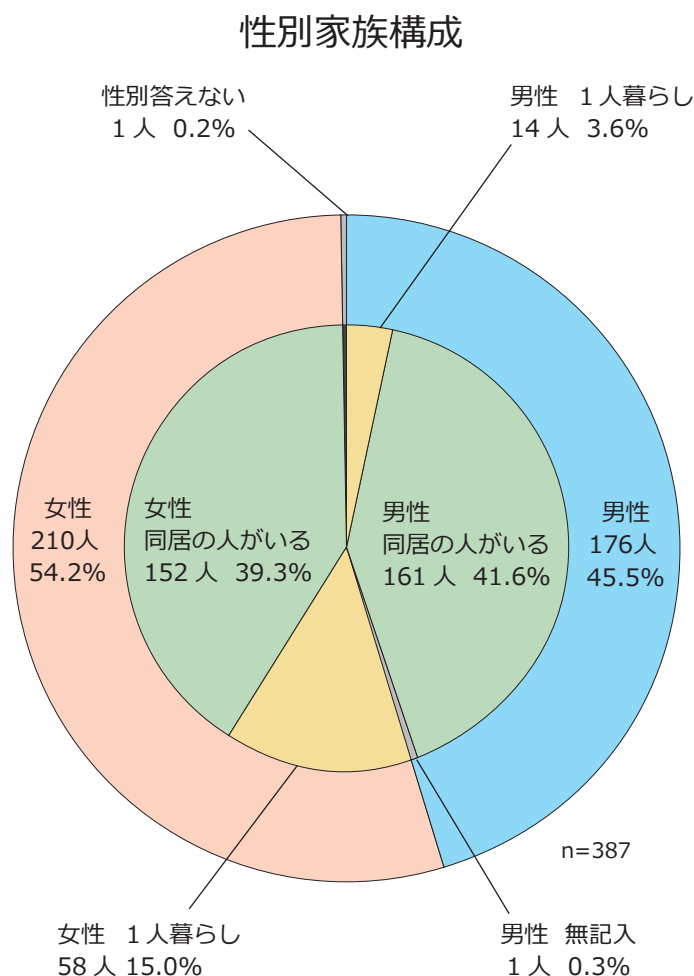
## 1. 回答者の属性

### 問 1. あなたの性別を教えてください。

- ・ 男性 : 176 人 (45.5%) 女性 : 210 人 (54.2%) であり、ほぼ二分された。

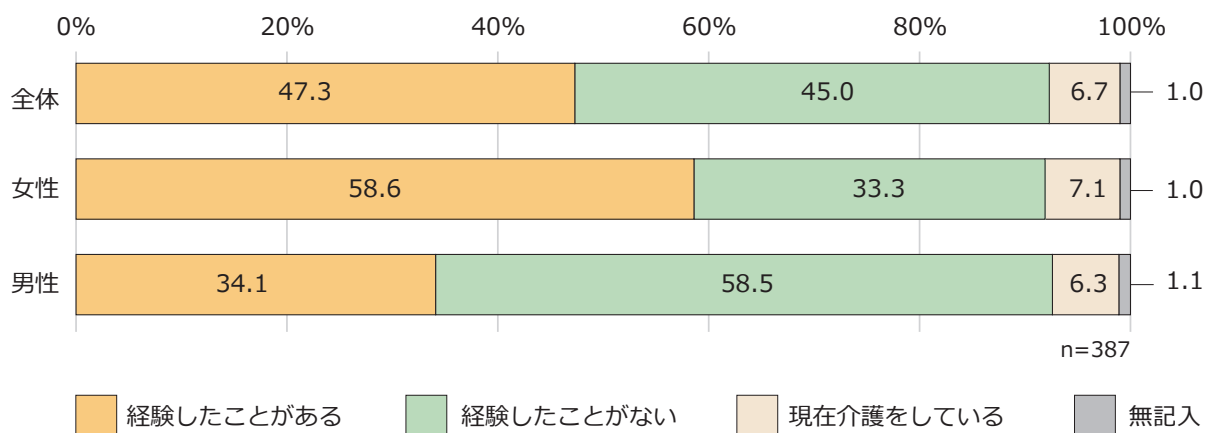
### 問 2. 家族構成について教えてください。

- ・ 一人暮らしは 72 人 (18.6%) で、その内訳は男性 14 人 (3.6%)、女性 58 人 (15.0%) である。
- ・ 「国民生活基礎調査 2019」(厚生労働省) では、70 歳～74 歳の男性単身者は 15.6%、女性単身者は 19.5% である。



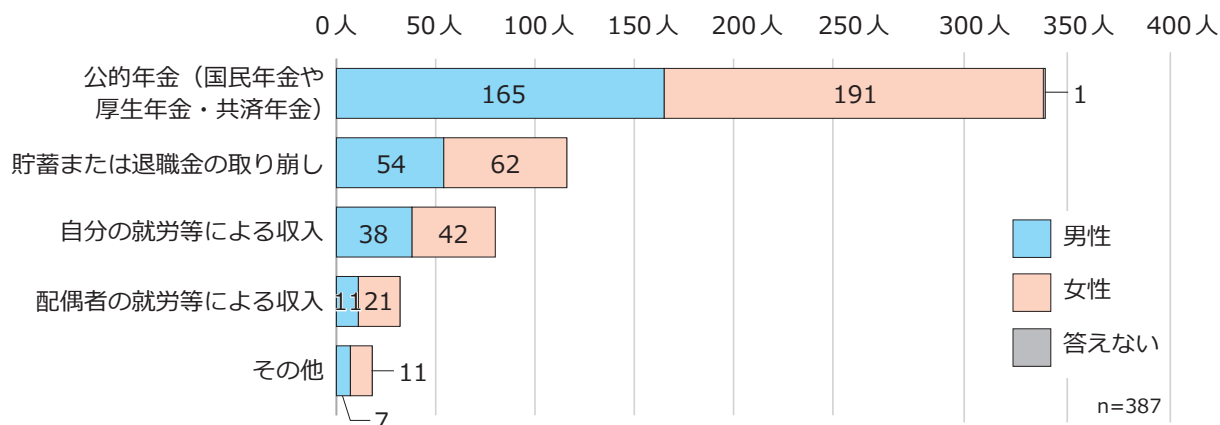
### 問3. あなたの介護経験について教えてください。

- 介護経験あり・介護中は、女性は65.7%、男性は40.4%もある。
- 国の調査結果と一致する。(内閣府「高齢社会白書」令和3年版、令和2年版)



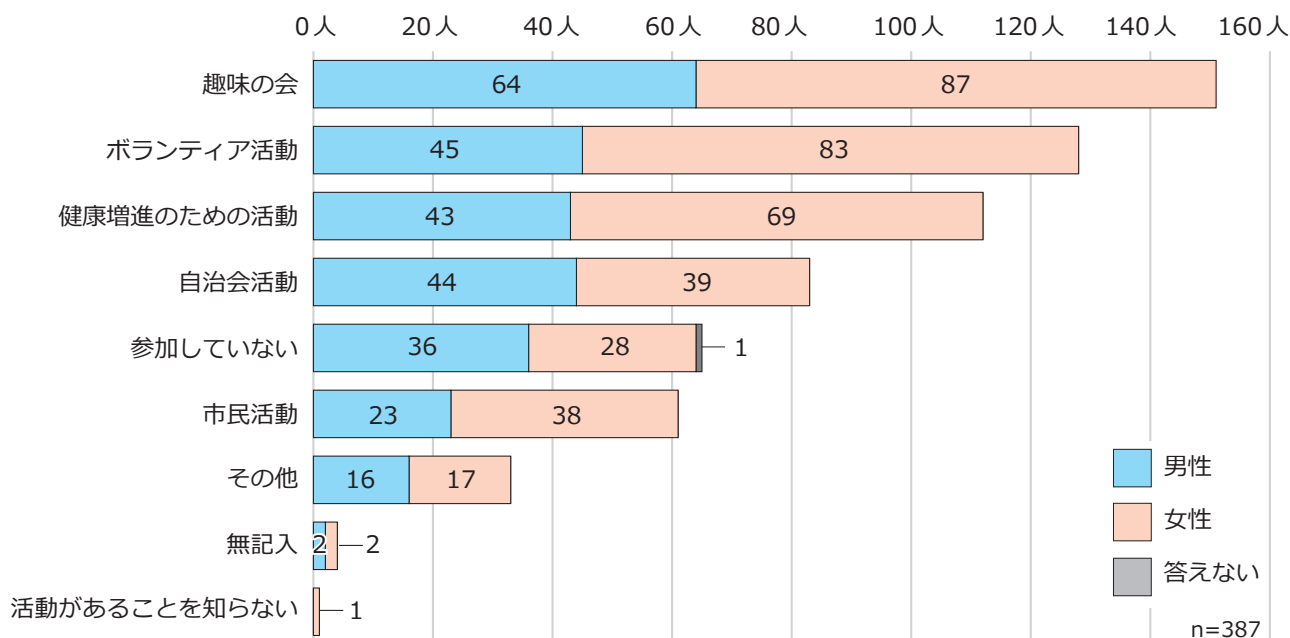
### 問4. あなたの生活を支えている主たるもの、2つまで〇をつけてください。

- 就労開始時期が国民皆年金体制の確立 (1961年) した後のため、公的年金で生活を支えている人は、9割を超えた。
- 80人 (20.7%) が自分の就労による収入を得ており、5人に1人が就労している。



問5. 現在参加している活動について、主なものすべてに○をつけてください。

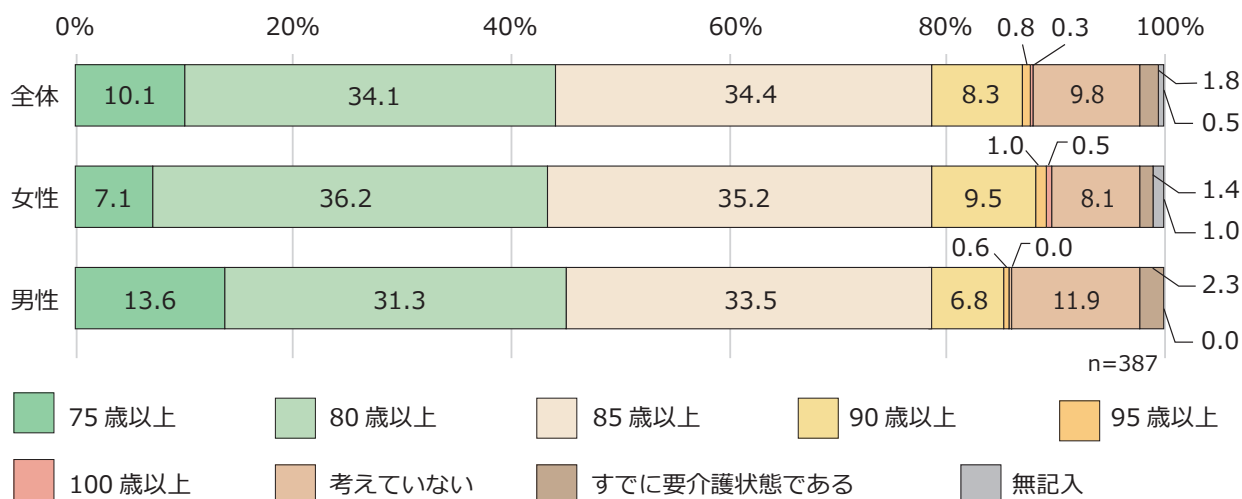
- 趣味の会、ボランティア活動、健康増進のための活動がトップ3を占める。
- 諸活動への参加数は、女性が男性よりも多い。特に、ボランティア活動、市民活動にその傾向は顕著である。ただし、自治会活動は男性が多い。
- 活動に参加していない人は、16.7%である。



## 2. 介護観について

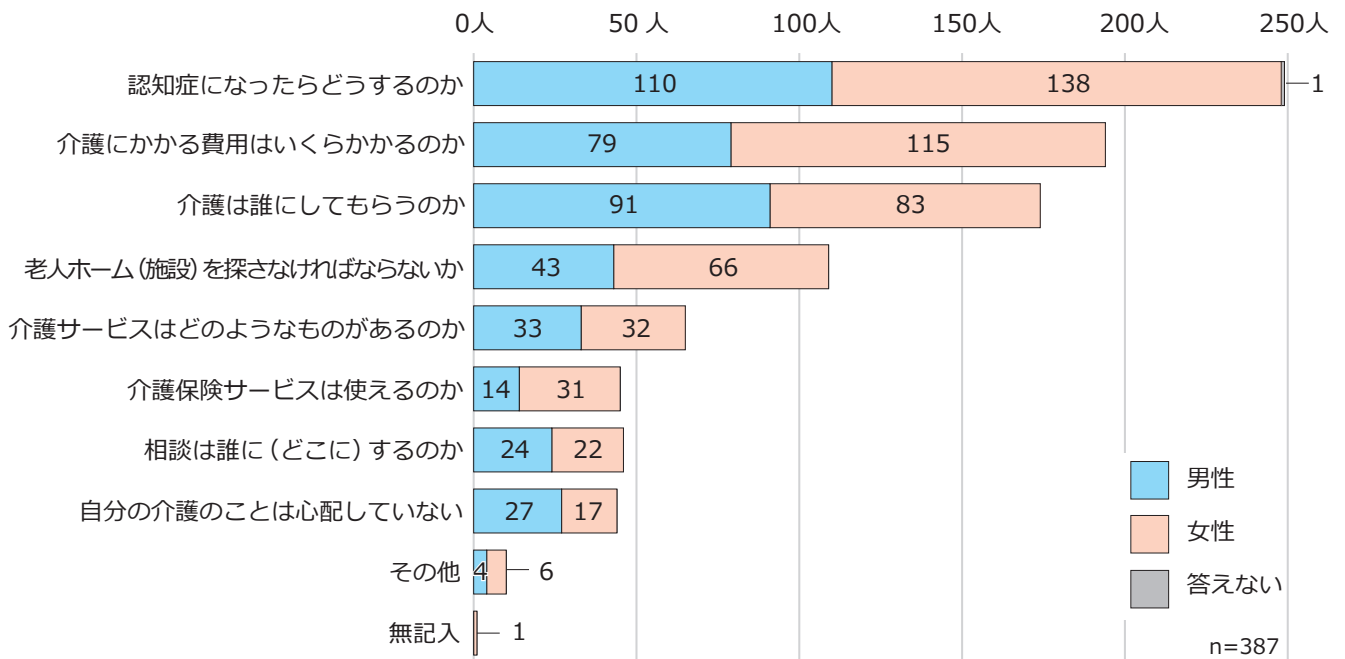
問6. あなたに介護が必要になると思われる年齢、1つに○をつけてください。

- 80歳以上132人(34.1%)、85歳以上133人(34.4%)と80歳代に回答が集中している。
- 介護の必要年齢はおおむね80歳以上と認識し、80歳代を「介護の入り口」と考えている人が多い。
- 年齢を基準とした死亡年齢(2018年厚生労働省「人口動態統計」)と一致する。



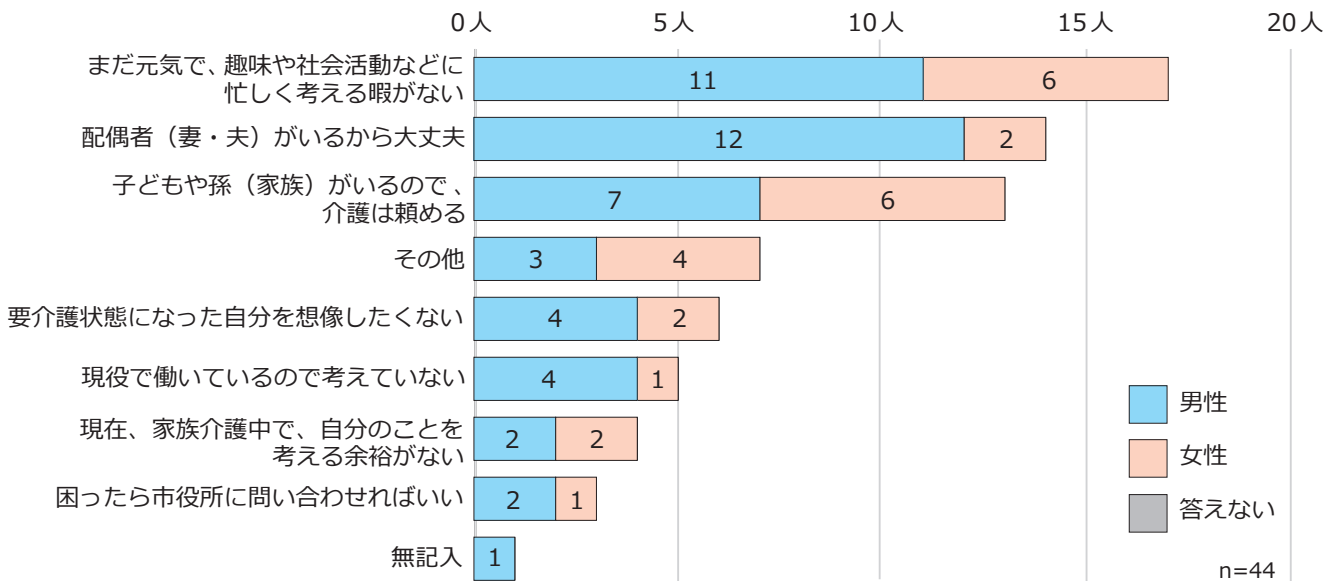
問7. あなたに介護が必要になった時の心配として、あてはまるもの3つまで〇をつけてください。

- ・ 認知症になったらどうするか、介護にかかる費用はいくらかかるのか、介護は誰にしてもらうのかの3項目に集中している



問8. 問7で「自分の介護のことは心配していない」に〇をつけた方は、その理由としてあてはまるものを、すべてに〇をつけてください。

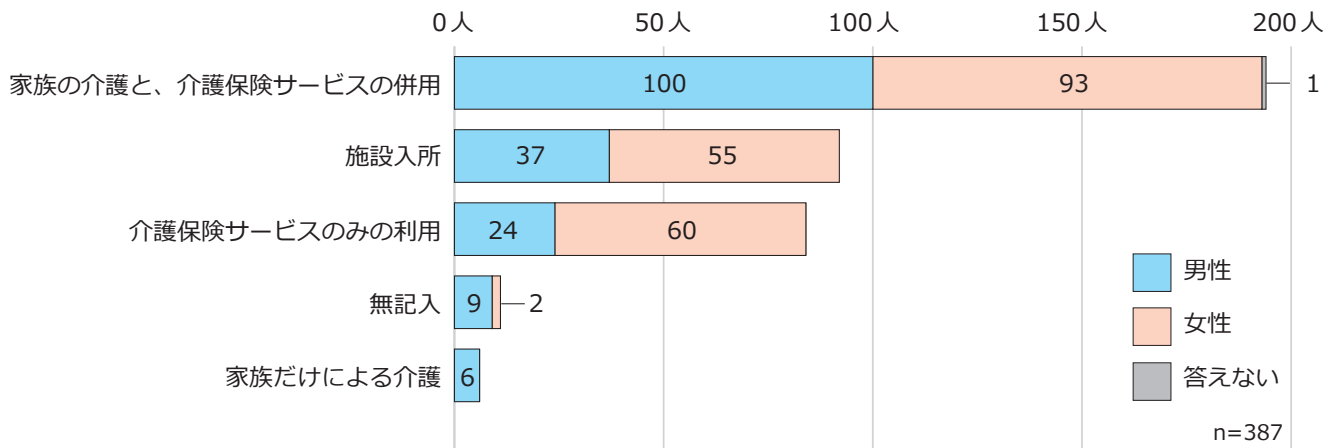
- ・ 「自分の介護のことは心配していない」は44人で全体の1割強であった。
- ・ 「配偶者がいるから大丈夫」の14人中12人が男性であった。





問9. あなたに介護が必要になった時、希望する介護について、1つに〇をつけてください。

- 「家族介護と介護保険サービスの併用を望む」が194人（50.1%）となった。
- 女性は施設入所や公的サービスを志向する傾向があった。

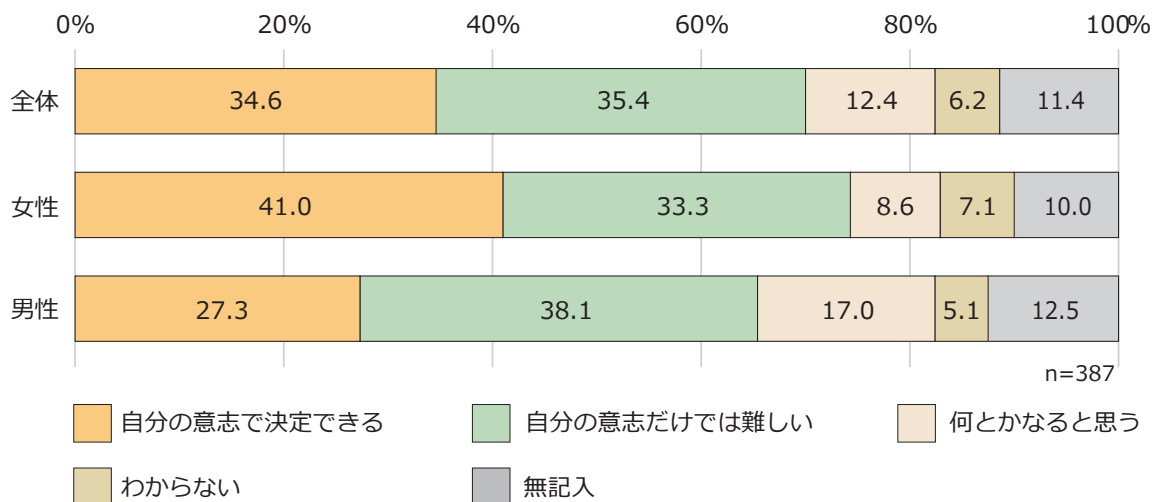


問10. 問9で「家族だけによる介護」に〇をつけた方は、理由として、あてはまるものすべてに〇をつけてください。

- 「家族だけによる介護」は、6人が希望しており、その理由として2人が「施設に入所するのが嫌だ」を選択している。「他人に世話をしてほしいくない」「介護保険の利用は経済的なこともあり控えたい」「その他」が1人ずつで、「家族が世話をするのは当然だ」を選んだ人は0人だった。

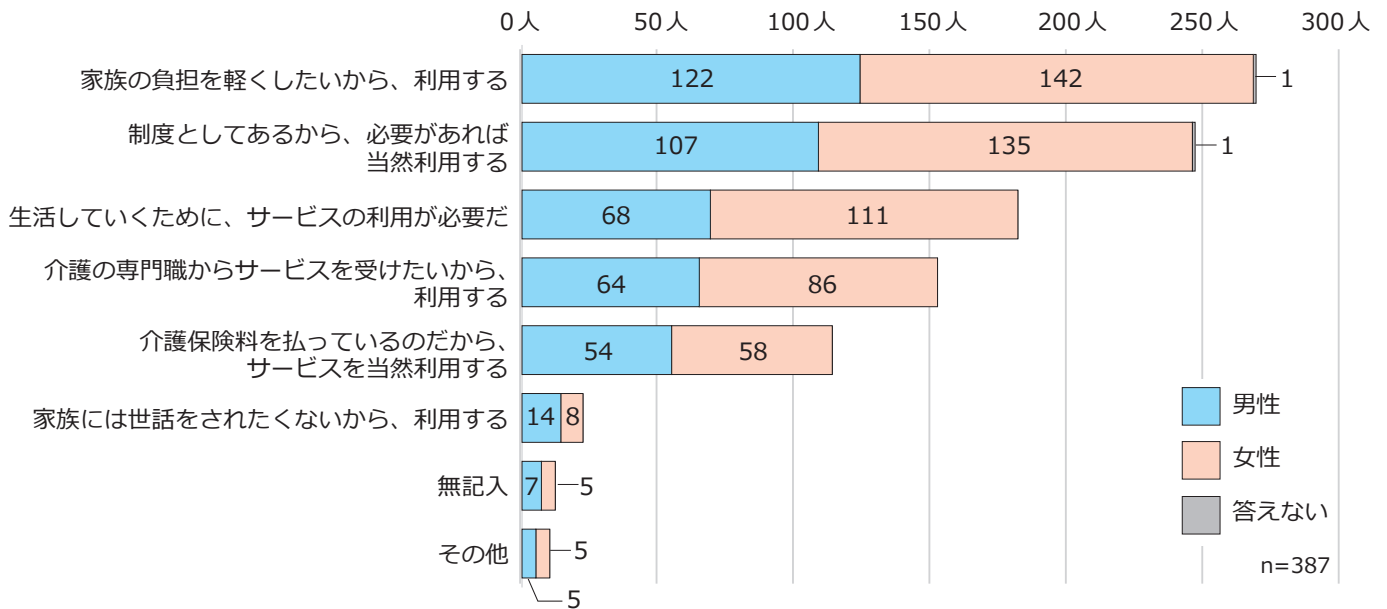
問11. 問9と問10の選択に関して、あてはまるもの1つに〇をつけてください。

- 「自分の意志で決定できる」134人（34.6%）と「自分の意志だけでは難しい」137人（35.4%）に二分された。女性は「自分の意志で決定できる」が多いが、単身者が多いことによると思われる。



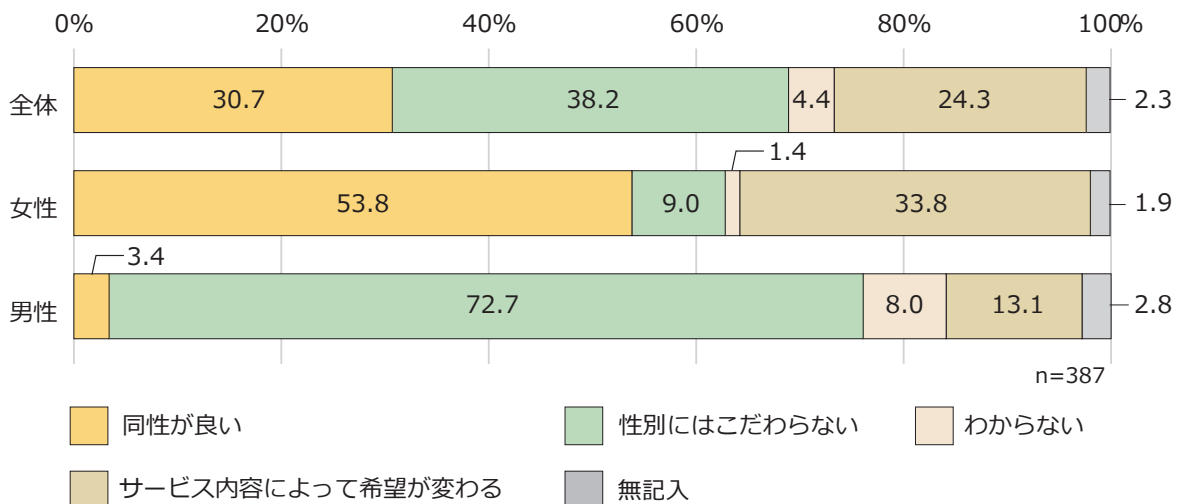
問12. あなたに介護が必要になった場合、「介護保険サービス」を利用しようとする理由として、あてはまるもの3つまで○をつけてください。また、現在「介護保険サービス」を利用されている場合には、その利用に関して、あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 「家族の負担軽減」265人と「制度として当然利用」243人が多い。介護保険制度発足から20年を経てサービス利用に抵抗感がないことがうかがえる。



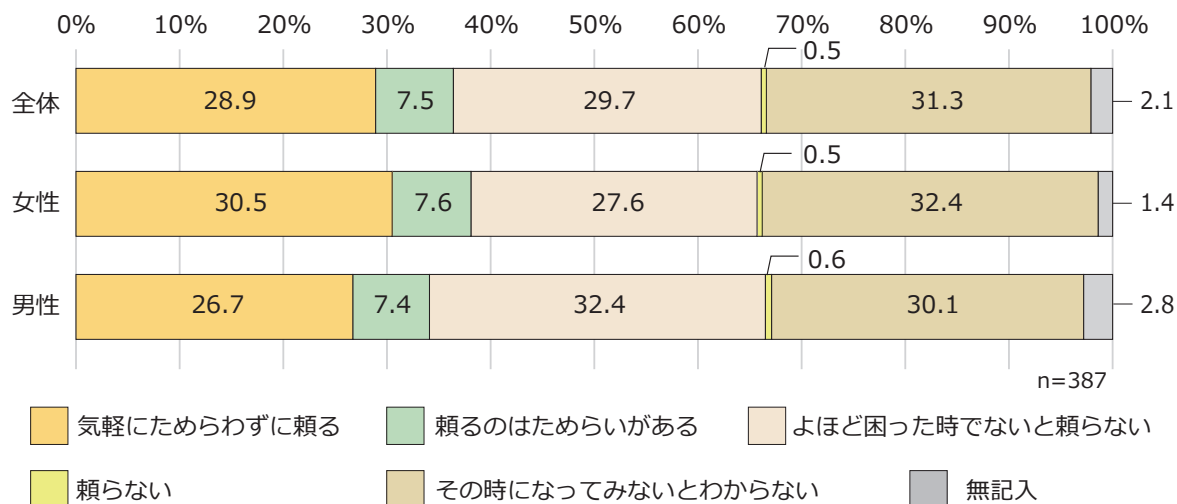
問13. あなたが介護を受ける際の介護専門職の性別に関する希望として、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 男性は「性別にはこだわらない」が、多数を占めた。女性は「同性」に介護されたいと考え、「サービス内容による」との思いが強い。



問 14. あなたがこれから生活していくうえで、介護だけでなく、その他の事でも困ったときの支援や援助を頼む場合、あてはまるもの1つに○をつけてください。

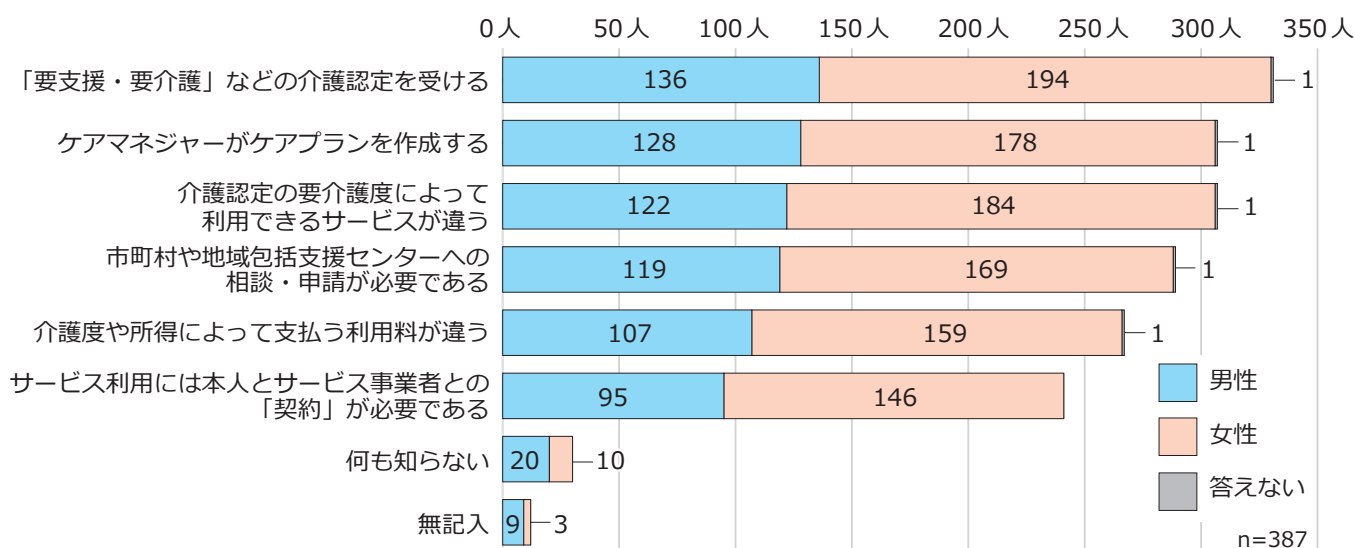
- 他人にどれだけ助けを求められるかという受援力の回答は、「頼る」「よほど困った時」「その時にならないとわからない」に3分割された。



### 3. 介護保険の知識

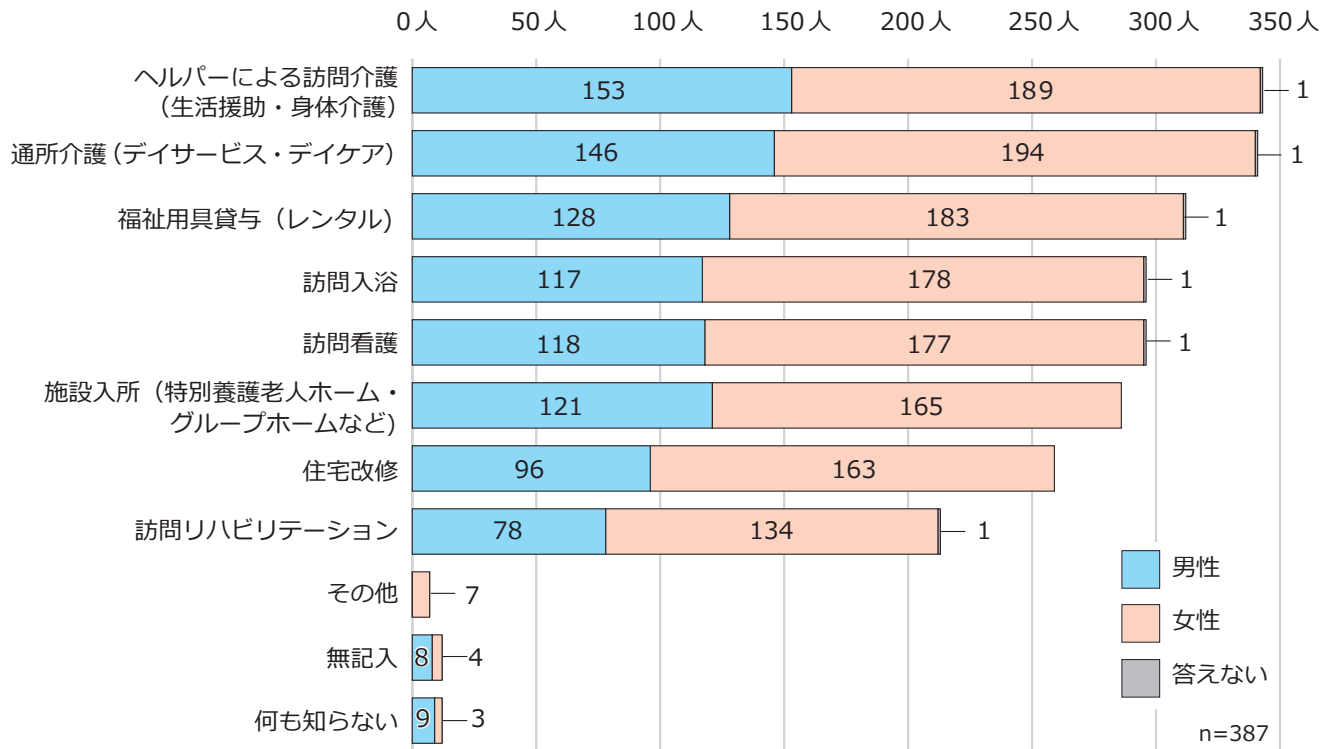
問 15. 介護保険サービスを利用する時の手順について、あなたが知っているもの、すべてに○をつけてください。

- 総じて知っていたが、一番認知度の高かったのは「介護認定を受ける」という項目で 331 人（85.5%）、相対的に低かったのが、利用には「契約」が必要である 241 人（62.3%）となった。



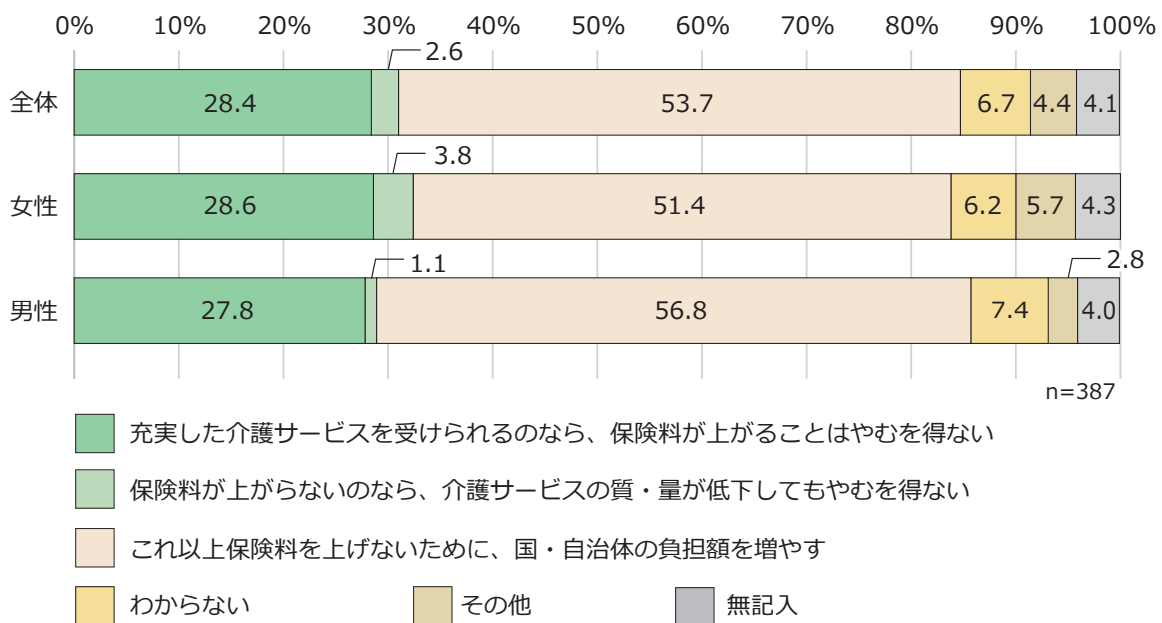
問 16. 介護保険サービスの種類であなたが知っているもの、すべてに○をつけてください。

- 設問にあるサービスすべてについての認知度は高く、訪問介護サービス 343 人（88.6%）とデイサービス 341 人（88.1%）については、特に認知度が高い。



問 17. 3年に一度見直される介護保険料について、あなたの考えとして、あてはまるもの1つに○をつけてください。

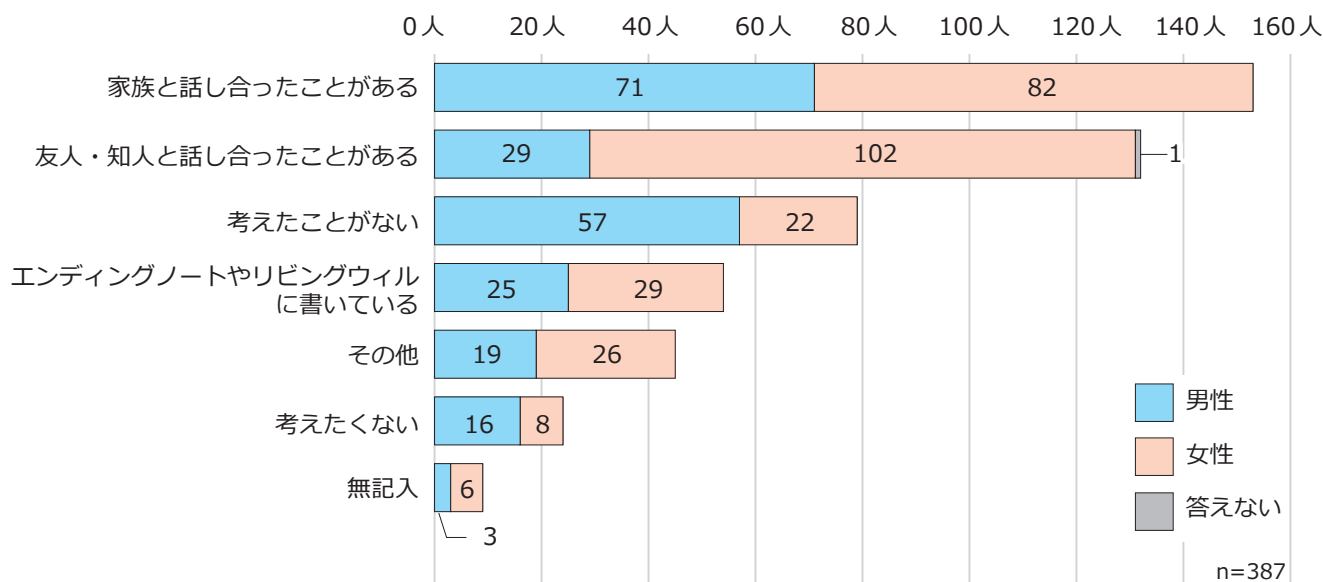
- 「国・自治体の負担額を増やす」が最も多い。
- 自由記述欄には「高い保険料」や「制度改革を望む」など、保険料と制度に関する記述が散見された。



## 4. 人生のしまい方

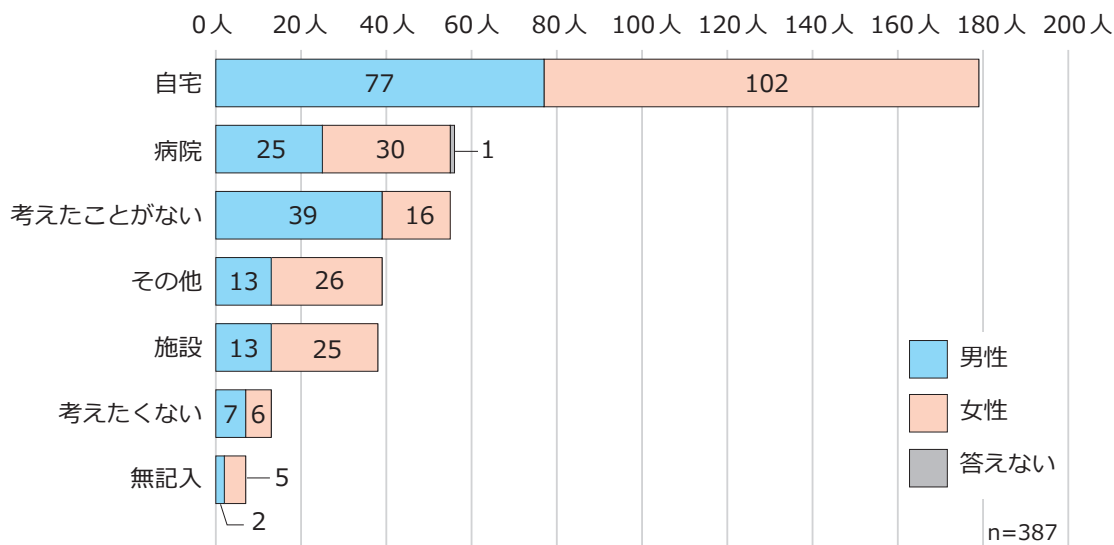
問18. あなたの「人生のしまい方」について考えたことがありますか？ あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 男性は家族と、女性は家族・友人・知人と話し合うことが多い。



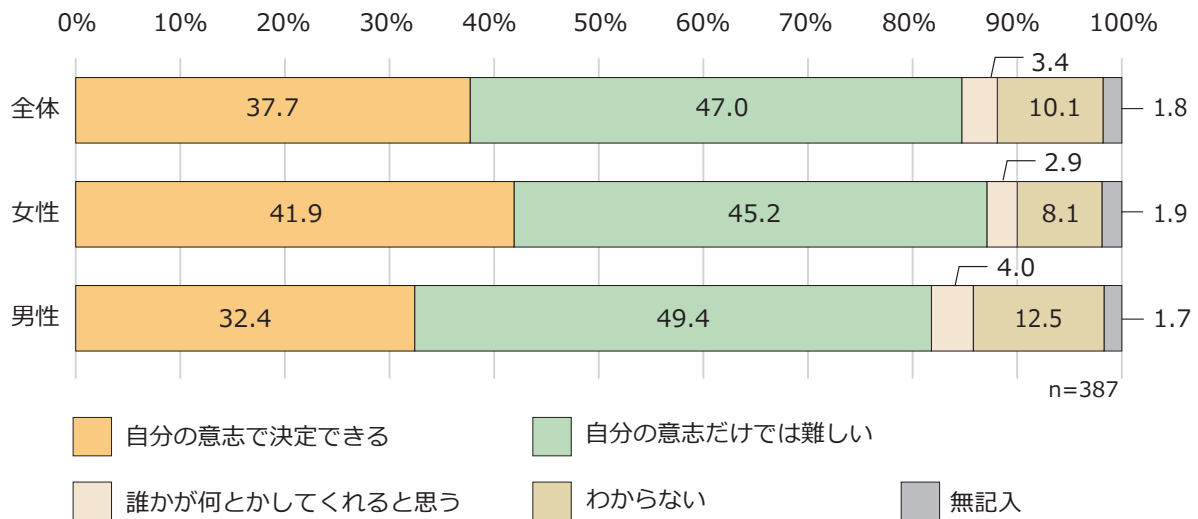
問19. あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか？ あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 「自宅」という希望が約半数（179人）を占める。「病院」と「施設」は約25%であるが、2017年には約90%が病院・施設で亡くなっている。（2017年厚労省「人口動態統計」）



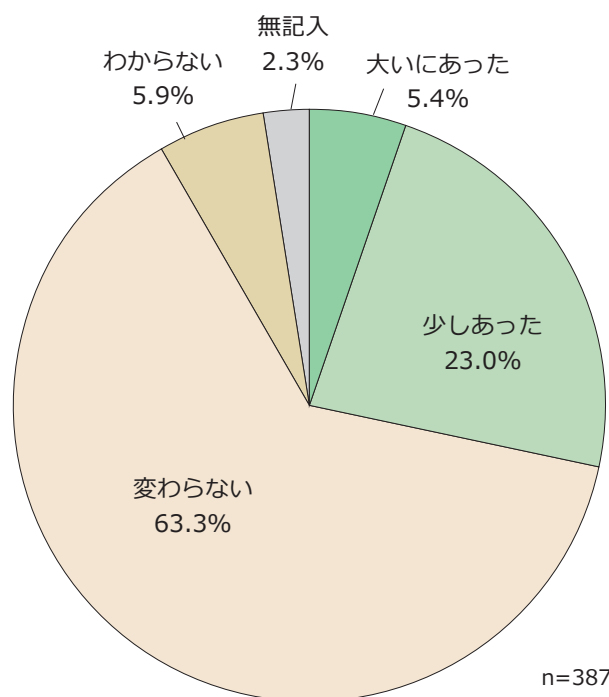
問20. 問19の選択は自分の意志で決定することができますか？あてはまるもの1つに〇をつけてください。

- 女性が男性より1割多く自己決定できると回答した。
- 最期の場所の選択は、「自分の意志だけでは難しい」が47%あるが、「介護の選択」(問11)では、「自分の意志だけでは難しい」が35.4%であった。



問21. コロナ禍であなたの「人生のしまい方」についてのお考えに変化はありましたか？あてはまるもの1つに〇をつけてください。

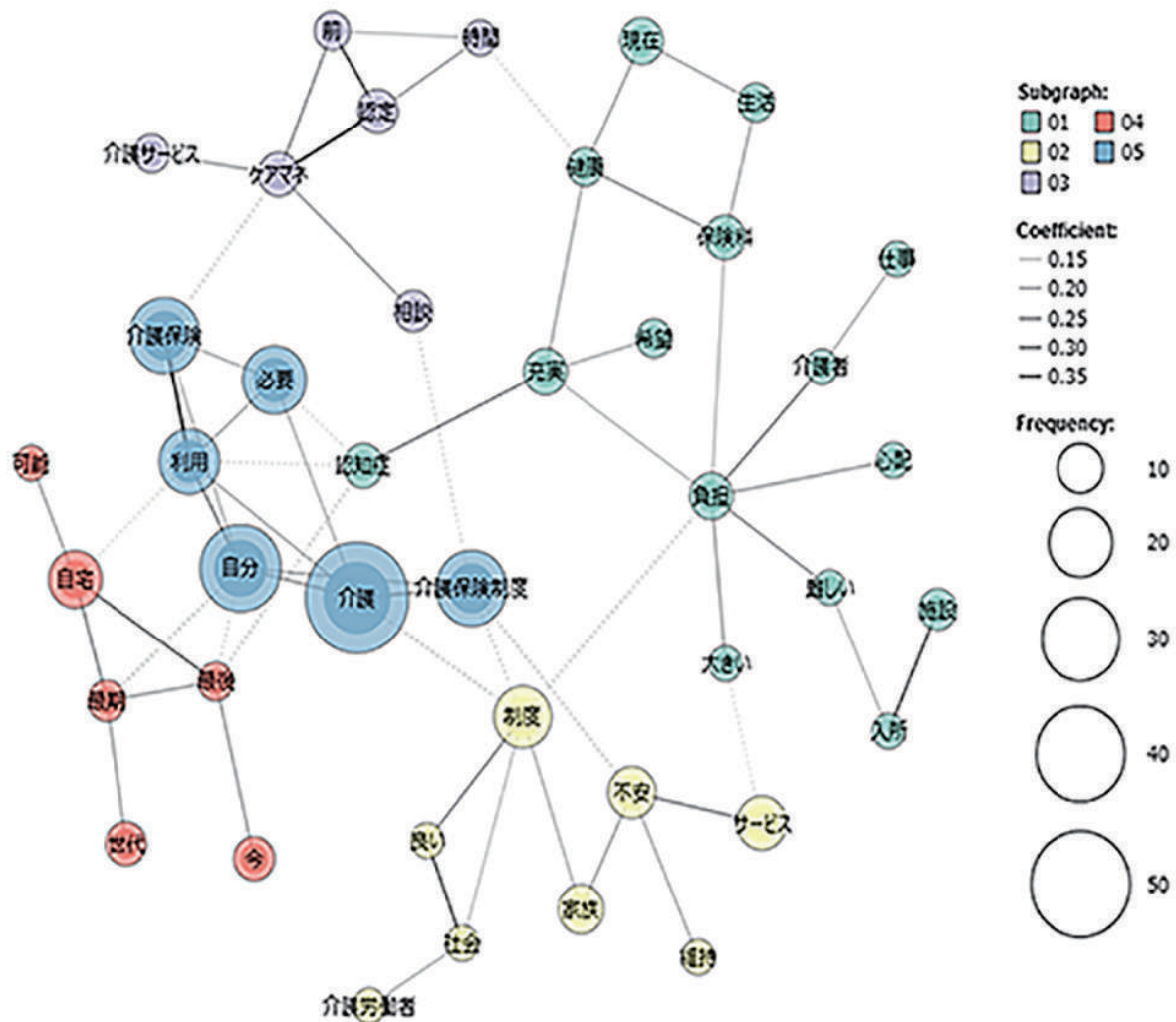
- 63.3%の人が「変わらない」と回答した。



## II 自由記述

今次調査結果をまとめるにあたり、自由記述98件の内容についてテキスト分析を行った結果、256文が抽出され、総抽出語数が5,433語、異なり語数が1,128語という結果になった。【KH Coder（テキスト型（文章型）データを統計的に分析するためのフリーソフトウェア）を利用した。】

自由記述では、「介護」「制度」「自宅」「ケアマネ・認定」「充実・負担」を中心に5つのサブグラフが示された。



### 共起ネットワークとは

共起とは「(言語学で)二つ以上の言語現象が同じ発話や文の中で同時に起こりうること(新明解 国語辞典第六版より)という意味である。文章中に出現する語と語がともに出現する関係(共起)の強さをネットワーク図で表しており、円の大きさは出現回数が多いことを、線の太さは関連の強さを示している。

前ページの5つのサブグラフに基づいて、回答者の自由記述欄の中から「心に留まる一言」を列記しました。

|  |
|--|
| 1. 介護  |
| 私たちが75歳を迎える頃、今の制度は破綻していると思っています。自分のことは自分でという考えから、介護してくれる人たちがいなくなっていると思います。   |
| 母を何年か介護していたので、制度のことや介護のことについてよくわかった。段々制度が変わって負担額が増えていったので、不信に思った。自分の介護が必要になった時の負担額や、家族への負担増が不安。（同種の意見複数あり）             |
| スムーズな手続き、希望する介護を、本人の尊厳の上で心地良い介護を、その人に応じた介護を。介護専門職の方の研修と待遇の改善。一律の介護ではない。  |
| 母が15年間グループホームでお世話になっており、定期的に帰省しています。コロナ禍でもスタッフの皆さんの献身的介護に頭が下がります。高齢化社会で介護サービスは必須の社会インフラと思いますが、働くスタッフの処遇が低く、改善されるべきと思う。 |
| 96歳母は要介護4、71歳妻は老人性うつ症（初期認知）老々介護が身近に、安心な社会は実現できるのか？みんなが政治ともしっかり主体的に関わり緊張ある政治環境を作り、みんなでより良い社会を作る必要があると感じている。             |
| 将来的に配偶者の介護が心配。   |
| 家内が障がい者になりもう9年目に入り、仕事をしながらの介護などで自分自身の為には、いろいろと勉強させていただいたと思う。   |
| 看護や介護の担い手の保障をもっとしっかりできるような、国民的な議論をしていただきたい。  |
| そもそも介護、介護保険制度についてよくわかっていない。勉強する機会もない。  |
| 2. 制度  |
| 介護保険制度は、有難い制度だと思いますので皆が使いやすい様にどんどん良い制度にして介護の専門職の方の育成をしていただきたい。   |
| 家族が介護保険を使っている。でも団塊の世代が要介護に入った時、この介護保険制度が維持できるか不安。  |
| 家族が介護保険を使っています。ケアマネジャーさんにはよく相談にのってもらっていますし、介護ヘルパーさんも親切でありがたく思っています。ただ、団塊の世代が要介護に入った時、この介護保険制度が維持できるか不安です。              |
| 介護保険制度の存在は、人間の終末期の選択肢を増やしてくれ、本人にとってもその家族にとっても大きい意義がある。「老い」にかかわる様々な問題の一部を解決する・・・と考える。                                   |
| 元気なうちに自分の望む介護を受ける準備をしたいのだが、制度が変わりすぎることもあり、その時にならないとわからないのが困る。必要なサービスを受けることさえできないのではないかとまで心配している。                       |



|   |
|---|
| ヘルパーの待遇が良くないのでなり手が少ないと聞く。団塊世代の介護がより必要になったとき、安心して受けられる制度があるのか心配。(ヘルパーの人材不足を懸念するもの多数)   |
| 地方自治体の実態に応じて、介護予防につながる施策や介護支援サービスを国が費用負担して、制度を使いやすくして、ヤングケアラーに頼らなくて良い社会にしていく。   |
| 介護保険制度は、当事者になってみなければ知らないことばかりです。気軽に相談できるよう広くPRする必要があると思います。   |
| 保険料を払っている者にもっと、どう使われているか、使えるのかを周知する努力を行政がすべきだ。  |
| 近年介護保険料が増額され、健康保険料も合わせると、国民年金では全く足りません。充実したサービスのためには誰かが負担しなければならないのですが、現在でも負担感はおおきいです。子どもや孫の世代が高齢となった時、きちんと支えられる制度の構築が必要です。 |
| 高齢者本人も介護保険制度を理解し、家族にも制度を広めてほしい。   |
| <b>3. 自宅</b>  |
| 同居人がまだ健在ならば、介護保険を利用しながら可能な限り自宅で過ごしたい。   |
| 単身でも認知症でもできる限り、自宅で過ごせるサポート、サービスが欲しいです。買い物、重い荷物等、利用しやすい宅配サービスがあるといいです。   |
| 自宅で終いたいと思う時に、介護保険利用だけでは限界があり、介護や家事の民間利用や、成年後見制度のことも考えたいと思っている。  |
| 自宅で使える介護サービスを使ってできるだけ自宅で過ごしたいので、訪問介護者の待遇改善を行い、人数も増やして、各利用者のニーズに合ったきめ細かい支援ができるように介護保険制度の改善もしてほしい。                            |
| 介護保険制度を利用して自宅で母を介護して看取ることができた。自分も自宅で介護保険制度を利用して最期を迎えたい。   |
| 身近な人を見送り、今の時代、自宅で最期を迎えるということはとても難しいですが、環境さえ整えば理想だなと思いました。   |
| <b>4. ケアマネ・認定</b>   |
| ケアマネジャーさんにはよく相談にのってもらっていますし、介護ヘルパーさんも親切で、ありがとうございます。  |
| ケアマネジャーに相談できるため、介護保険サービスを利用することに不安はありません。   |
| 家族の介護の後、友人と認定の情報交換をしたら随分と違う（認定は自治体の差というよりケアマネや障害の有無、性別による）ことが判った。   |
| 調査員やケアマネによって認定が変わるのは介護保険を受けているのでつらいことがある。介護が必要なのに減らされるのはおかしい。主治医の意見書の影響があるので認定が下がっているのかと思う。                                 |

|   |
|---|
| <p>親の面倒を見る最後の世代で、子どもに面倒を見てもらえない最初の世代と言われているとか。あと、何年生きるかわからないので、経済面でも予想が立て難い。ケアマネやヘルパーなど人間関係の中で(介護サービスの)質が左右されている。</p> |
| <p>自分の健康・体力維持に留意して、できればピンピンコロリで人生を終わりたいものです。介護職のかたには本当に感謝です。充実した処遇を望みます。</p>  |
| <p>5. 充実・負担</p>   |
| <p>私(要介護1)、母(要介護5:サ高住入居)、いろいろと思いがありますが、サ高住の費用がかさむ状態です。これでは到底私たちが重度の要介護状態になった時にやっていけそうにないです。今後が不安であります。</p>            |
| <p>できるだけ家族に負担をかけたくないので、制度が充実できればよいと思う。</p>  |
| <p>受け取る年金の額は変わらないのに、介護保険料が高くなっていくのは生活が苦しくなるので困ります(年金だけで暮らしていかななくてはいけないので)。</p>  |
| <p>母を介護していたので、制度のことや介護のことはよくわかった。自分の介護が必要になった時の負担額や、家族への負担増が不安です。</p>   |
| <p>施設に入れない間の訪問介護やデイサービス、ショートステイを必要な時に利用できるように充実させる。</p>   |
| <p>2021年8月から、低所得者の介護施設利用料が負担増になると報道されています。低所得者をムチうつようなやり方はあまりにも非情です。</p>  |
| <p>仲間や組織で勉強し、3年毎の改悪の部分に抵抗できる力を個々・組織両方につけなければいけない。</p>   |
| <p>介護保険料がどんどん上がり、年金が減って困る。</p>  |
| <p>介護保険制度は相互扶助だと思うが、要介護者が増えると保険料が上がるのは仕方がないと思いつつ、負担はやはり老後の生活を圧迫しそうで不安。財源構成の割合を考える必要があるのではないかな？</p>                    |
| <p>親の介護のおかげで制度については実感としてとらえているが、保険ができた時とは、かなりかけ離れてきていると感じる。介護人材の賃金・労働条件向上とわかりやすい介護サービスの充実を望む。</p>                     |
| <p>介護職の方々の待遇改善が必要と思う。</p>   |
| <p>介護保険料の負担が大きくなってきている。団塊世代は利用することが難しくなってくるのでは？また、負担に耐えられない人もでてくるのでは？と思います。</p>                                       |

## Ⅲ 考察

### 1. 介護保険法・制度の知識

#### (1) 介護保険制度におけるサービス利用の手順は概ね周知されている (問3、問6、問12、問15)

「介護経験あり」「現在介護中」を合わせると54%と半数以上の方が介護を実際に経験しており(問3)

「介護サービス利用の手順」を知っている人が多い。(問15)

現在団塊の世代は、「介護が必要となる年齢」を10年以内(80～85歳)と認識しており、もはや「介護」は他人事ではない年齢になった。(問6)

回答者の多くは「必要に応じて当然利用する」「家族の負担を軽くしたいので利用する」とし、制定から20年が経過した「介護保険制度」は、社会に定着している。(問12)

#### (2) 介護保険制度におけるサービスの種類は概ね知っている (問16)

(1)と同様に、「介護サービスの種類」についても認知度は高い。(問16)

特に「ヘルパーによる訪問介護」「通所介護(デイサービス・デイケア)」「福祉用具レンタル」について認知度が高い。サービスを受ける人やサービス提供施設が近辺に増え日常化したことも要素と考えられる。

#### (3) 介護保険料の引き上げ分は公費負担を望む (問3、問9、問17)

介護保険料引き上げに関しては、「国・自治体の負担」を望む声が5割を超えている。また、保険料を上げないためのサービスの低下を容認する人は、全体で10人と極めて少数である。一方、約3割の人がサービス低下を防ぐためには、保険料の一定程度の引き上げはしかたがないとしている(問17)。しかも、「介護経験あり」の26.2%、「現在介護中」の42.3%の人が保険料の引き上げを是認している。(集計データ 別表)

「希望する介護」(問9)に対する回答が「家族介護と介護保険サービスとの併用」が半数を越え、「施設入所」と「介護保険サービスのみ」が各2割超(全回答数に占める割合)を占めている。これらの保険料引き上げに対する考えは、全体の9割超の人が何らかの公的サービスを受けることを望んでいることと無関係ではないと考えられる。

自由記述欄には「保険料の引き上げ」は年金生活者である該当者の生活をおびやかすものとして不安視する意見が相当数見られた。団塊の世代の多くが介護保険サービスを利用するようになる時期を見据え、介護保険にかかる費用の負担については、公費負担増の声が実現できるようその動向を見定めていく必要がある。(問17)

| 介護保険料<br>引き上げへの意見                      | 介護経験の有無 |      | 介護経験したことがある |      | 介護経験したことがない |      | 現在介護をしている |      | 無記入 |      | 合計 |      |
|--|---------|------|-------------|------|-------------|------|-----------|------|-----|------|----|------|
|  | 実数      | 割合 % | 実数          | 割合 % | 実数          | 割合 % | 実数        | 割合 % | 実数  | 割合 % | 実数 | 割合 % |
| 1 充実した介護サービスを受けられるのなら、保険料が上がることはやむを得ない | 48      | 26.2 | 50          | 28.7 | 11          | 42.3 | 1         | 25.0 | 110 | 28.4 |    |      |
| 2 保険料が上がらないのなら、介護サービスの質・量が低下してもやむを得ない  | 5       | 2.7  | 5           | 2.9  | 0           | 0.0  | 0         | 0.0  | 10  | 2.6  |    |      |
| 3 これ以上保険料を上げないために、国・自治体の負担額を増やす        | 107     | 58.5 | 89          | 51.1 | 10          | 38.5 | 2         | 50.0 | 208 | 53.7 |    |      |
| 4 わからない                                | 6       | 3.3  | 16          | 9.2  | 4           | 15.4 | 0         | 0.0  | 26  | 6.7  |    |      |
| 5 その他                                  | 10      | 5.5  | 6           | 3.4  | 0           | 0.0  | 1         | 25.0 | 17  | 4.4  |    |      |
| 99 無記入                                 | 7       | 3.8  | 8           | 4.6  | 1           | 3.8  | 0         | 0.0  | 16  | 4.1  |    |      |
| 合計                                     | 183     | 100  | 174         | 100  | 26          | 100  | 4         | 100  | 387 | 100  |    |      |

## 2. 人生のしまい方の認識

### (1) 人生のしまい方について多くは何らかの考え方を持っている (問18)

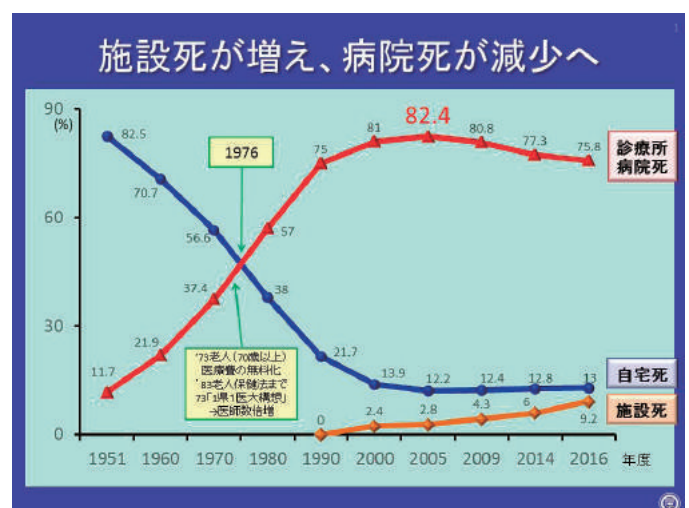
人生のしまい方に関して、「家族と話合ったことがある」、「友人・知人と話合ったことがある」が、総回答数の各々、4割弱、3.5割の占有率となっている。(問18)

また、男性は家族と話し合い、独居生活者が多い女性は友人・知人と話合う傾向が強いものとなった。一方、「考えたくない」「考えたことがない」は、女性より男性に多く、男性の約2割が該当する。ただ、「考えたことがない」の理由については、「まったく不安がない」というものではなく、「考えたくない」は、「まだ実感がともなわない」「何とかなる」あるいは「不安がある」ゆえのある種「現実逃避」の可能性も考慮に入れるべきではないか。(集計データ 問18)

### (2) 人生の最期を迎える場所の希望は、多くが明確に持っている (問19)

1976年に死を迎える場所が、自宅から病院へと逆転し、以降病院での死亡が多い状況が続いている。施設で亡くなる人は約1割に上昇した。

(2016年厚生労働省「人口動態統計」)



「自宅で最期を迎えたい」とする人は、男女とも半数を越えており、家族同居・独居者ともに同じ傾向を示している。自由記述でも複数の意見があったが、「人生の最期は自宅で迎えたい」との回答が相当数に及んだ(問19)。それは、他の選択肢(病院・施設)を大きく引き離している。

ただし、この間にも「考えたくない」「考えたことがない」が男性に多く、その理由は(1)と同様であると考えられる。(集計データ 問19)

### **(3) 人生の最期を迎える場所を「自己決定できる」と「自分の意志だけでは難しい」が拮抗している(問20)**

死を迎える場所を「自分の意志で決める」と「自分の意志だけで決めるのは困難」が拮抗した。女性と単身者と介護経験ありの人が「自分の意志で決める」割合が大きくなった。また、「わからない」は女性よりも男性が多い結果となった。(問20)

「自分の意志だけで決めるのは困難」とする理由には、「家族に迷惑をかけたくない」との配慮や「医師の指示に従わざるを得ない」との思いが錯綜した結果ではないかとも見られる。

多くの女性が「自己決定できる」と回答したことは、一般的に女性が長命であり、本調査でも女性の単身者が男性単身者よりも相当数多い結果(男女比 1 : 4)との関係性が認められる。単身者は自律的にならざるをえない。また介護経験からは介護の実情を熟知していることが影響しているのだろうか。(集計データ問20)

## **3. ジェンダーの観点**

### **(1) 男性の介護経験者・介護中の割合が高い(問3)**

団塊世代は戦後の男女平等、民主主義教育を受けてきた世代である。日本が高度経済成長によって経済復興した社会で活躍した世代でもある。同時に、女性の雇用を未婚期に限定する等のジェンダー差別を伴う「日本型雇用慣行」が成立し、「男は仕事、女は家庭」の性別役割分業社会が定着した世代である。そして、「介護」といえば女性、とりわけ「息子の妻=嫁」の役割とされた。

しかし、核家族化が進み、高齢者夫婦の世帯増加と三世代同居等の減少とあいまって、配偶者やそれぞれの親に対する介護を男女ともに自分のこととして担わざるを得ない状況が生まれたとも言える。その結果、男性介護者が4割に達している。(集計データ問3)

### **(2) 男性は家族介護との併用を選ぶが、女性は公的サービスを選ぶ(問8、問9の男女別、問12)**

自らが介護されるときに「家族介護のみ」を希望する人は6名だけであり、「家族が世話をするのは当然だ」との回答は0人であった(問10)。一方で、家族の関与を受けながら「公的サービスを併用」(50.1%)と「施設入所」(23.8%)の2者が多数を占め、全面的な公的サービスを望む割合(21.7%)を超えた。男性は、公的サービスを受けながら、家族の介護を併せて期待する。男性よりも一般的に長命な女性および単身者が公的サービスを選ぶ傾向が強い結果となった。(問9)

なお、「自分の介護は心配していない」と回答した44名の内「まだ元気で趣味や社会活動に忙しくて考

える暇がない」「配偶者がいるから大丈夫」は、いずれも男性に多い。「配偶者がいるから大丈夫」は、性別役割意識が男性にまだ残っていることを示唆している。(問8)

公的サービスを受ける理由は「家族の負担を軽くしたい」が圧倒的に多数を占めているのは、子や孫に負担(迷惑)をかけたくないとの表明であると推測できる。(問12)

### (3) 女性は、同性介護を希望する・利用者の尊厳に向けて(問13)

自らが公的介護をうけるとき「男女どちらに介護してほしいか」には、男女に大きな差異があった。男性は、「介護職者の性別にはこだわらない」が多数を占めた。一方、女性は、「同性がよい」「介護の種類によって同性がよい」が他を圧倒して多くを占めた。

これは、男女ともに「介護は女性の役割」が潜在意識としてあり、男性にとっては異性には身体介護を受けることにも抵抗がないか「当たり前」のことと認識していることを示している。しかし、女性にとって、身体接触を伴う直接的な身体介護には「羞恥心」が強くあり、男性と異なる要因と言えよう。医療関係の調査・研究において、女性は他者に「肌を見せる」ことに、男性にくらべ強い羞恥心を抱くとの考察をしている<sup>1</sup>。また、独居の場合に特に「同性介護」を望む割合が高く、女性の独居率が高いことから、独居の場に「異性介護職者」が入ることを忌避する傾向が読み取れる。

このような羞恥心を理解し配慮・保護することは、要介護者の尊厳を保障することでもあり、その重要性を認識し、介護サービスの種類によっては同性介護の要望に応え得る十分な介護従事者の増強についての対策を強く求めるとともに、利用者の意向を尊重する運用を求めていくべきだろう。

※資料：当会の2015年ヒアリング調査

#### 1. 介護をして貰う時のヘルパーさんの性別に関して (問15)

| 生活援助サービスに対する<br>男女差 | ①同性がいい |    | ②異性がいい |    | ③どちらでもいい |    |
|---------------------|--------|----|--------|----|----------|----|
|                     | 男性     | 女性 | 男性     | 女性 | 男性       | 女性 |
| 1 掃除                | 1      | 10 | 4      | 6  | 8        | 0  |
| 2 洗濯                | 0      | 11 | 4      | 0  | 8        | 5  |
| 3 調理                | 1      | 11 | 4      | 0  | 8        | 5  |
| 4 買物                | 0      | 5  | 4      | 0  | 7        | 11 |
| 5 入浴介助              | 2      | 16 | 4      | 0  | 7        | 0  |
| 6 トイレ介助             | 3      | 16 | 3      | 0  | 6        | 0  |
| 7 おむつ交換             | 2      | 16 | 3      | 0  | 7        | 0  |
| 8 ふろ掃除              | 1      | 5  | 3      | 0  | 7        | 11 |
| 9 ゴミ出し              | 0      | 3  | 3      | 0  | 8        | 13 |
| 10 通院見守り            | 0      | 5  | 3      | 0  | 8        | 10 |

女性は、身体介護(入浴介助・トイレ介助・おむつ介助)については、回答者全員が同性を望み、異性がいいとするのは掃除の6名のみ。調理、洗濯、掃除などには同性を望む声があるが、それ以外はどちらでもよいと答えている。一方男性は、いずれの介助でも両性、もしくは異性で良いとしていて、同性を求めるものは少ない。

<sup>1</sup>辻慶子他(2021)ケア場面での高齢者の羞恥心の強さの違い—周囲の人の有無による比較—

# Ⅳ アンケートから見えてきたこと

---

## 1. 介護労働者の処遇の改善とジェンダー

介護業界での労働者全体の月額賃金を正規・非正規職員に分けてその平均を見てみると、正規職員の平均月額賃金は23万4,439円である。これに対し、非正規職員の平均月額賃金は19万3,390円で、4万円以上の差。男女別月額賃金は、男性24万484円、女性22万7,750円であり、その差は1万4,000円弱である。しかし、産業界全体の男女賃金差は、平成31年時点での産業界全体の平均賃金は、男性33万8,000円（平均年齢43.8歳・平均勤続年数13.8年）に対し、女性25万1,000円（平均年齢41.8歳・平均勤続年数9.8年）で8万円以上の差である。（厚生労働省「平成30年賃金構造基本統計調査」）

政府は「介護労働者の処遇改善」として、介護職の賃金上昇を目指し、介護職員の収入を3%程度（月額9,000円相当）引き上げる方針を打ち出し、2022年2～9月分は国による「介護職員処遇改善支援補助金」で全額対応した。しかし、10月以降の処遇改善については、「介護報酬を臨時改定」とすると発表し、改定率は1.13%増となる見通しである。この報酬改定により、利用者の負担や一部被保険者の保険料が上がることとなる。これ以上の利用者負担にならないよう、抜本的な対策が必要である。

介護職員の賃金が福祉職全体の平均より6万円低く全産業平均より10万円も低い現状をみれば、この措置によって介護職の「人手不足の解消」や「格差是正」につなげるには極めて心もとない金額である。さらに、介護職員の多くは、伴侶を持つパート層（非正規職員）で、配偶者の扶養の範囲や所得税課税の「103万円の壁」社会保険加入の「130万円の壁」を意識し、年間収入と勤務日数を計算しながら業務に従事している。この「賃上げ」によって時給や日給が引き上げられれば、逆に働く日数を減らそうとする層が一定数出てくることが想定され、人材難を招くことも考えられる。本調査の自由記述においても、特に「介護経験あり」「介護中」の対象者から、介護職への待遇改善を望む声が複数挙げられている。賃金上昇という「処遇改善」だけでなく、税と社会保障の「個人単位への制度」（ジェンダー平等の税・社会保険制度）の確立が必要である。

そのためにも、男性介護者を増やすことで「介護職」を女性の「専門職域」にとどめることを是正するべきだ。ケアに対する低い社会的評価の問題、女性を劣位に位置付ける差別の問題などを内包する現状を打開する道程の一助であるとも考えられる。そのことは、翻って介護職の賃金上昇の契機ともなろう。

## 2.まとめ

調査結果から、団塊世代は全体的に介護を身近な課題としてとらえていることを確認した。

自らが介護を受けるに際しては、「家族の負担を最小限にしたい」との思いは強く、そのため「公的介護サービス」の提供を望んでいる。介護の充実を図るための自己負担は、できるだけ少なく、可能な限り「公的資金」での対処を求めている。介護を受けるにあたって、「同性介護」を求める声が特に女性に多く、「要介護者」の尊厳、人格権の問題との視点から必須の課題である。

「如何なる介護を受けるか」「人生のしまい方をどうするか」を自己決定できる、とする回答に男女間の差異は大きくなかったが、女性に、より「自己決定できる」傾向があった。また、「人生最期を迎える場所」の希望は、「自宅」が全体の約半数を占めた。「病院からの回帰」と考える。「自宅」で人生を全うできる制度・環境の整備、特に「医療と介護の連携」で、在宅介護が保障されることが重要である。

今後、尊厳が保障される持続可能な介護保険制度やサービスの提供を受けるためにも、制度のたゆまぬ改革・改善が望まれる。



# おわりに

コロナ禍のため、一年延期してのアンケート調査は、依然として新型コロナウイルスの終息を見ない中での実施となりました。プロジェクトのメンバーは、リアル会議やオンライン会議に臨機応変に対応しながら準備に励み、調査にこぎつけました。

調査票は、郵送や、感染が少し落ち着いた隙間の中での集まりで配付・回収しました。また、調査票にQRコードを付けるなどして、デジタル面での工夫も凝らしました。

新型コロナウイルスが感染拡大する不安のなか、調査にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

調査で明らかになった問題点をさらに分析し、政府・関係省庁、各自治体、関係団体に提言書を送付し、改善要請をしていきます。

また、この調査で浮かび上がった様々な問題を団塊の世代や団塊ジュニアの視点でとらえ、すべての世代をも含めたものとして、下記5点を中心に今後の諸活動に活かしていきます。

- ◆ 「介護が必要になった時の心配ごと」に、4人に1人が「認知症になったらどうするか」を挙げている。「認知症」になっても安心して暮らせるシステム・制度の確立に向けた取り組みや、「認知症」への正しい理解を進める講座などを引き続き行っていく。
- ◆ 介護保険についての知識はおおむね普及しているが、利用にあたってのことや根幹の制度の変化などについて介護保険の学習会（出前講座を含む）を実施していく。
- ◆ 人生のしまい方やACP（人生会議）などについての講座などを実施していく。
- ◆ 第9期介護保険事業計画（2024年度～）に向けて、第8期事業計画の問題点・課題を整理し、2023年度各自治体の検討に反映していく。
- ◆ 団塊世代が85歳になり、他の世代も含めた人口の約3分の1を高齢者が占める2035年問題に向けて、社会保障の抜本改革の議論を深めていく。

なお、この調査プロジェクトは、当会「介護問題研究会」が担当しました。

今後とも「高齢社会をよくする女性の会・大阪」へのご支援・ご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

# 【資料】

## 1. 調査票

2021年8月吉日

「団塊世代」の皆さま



高齢社会をよくする女性の会・大阪  
代表 植本 眞砂子

### 「団塊世代の暮らしと介護に関する意識・実態調査」ご協力をお願い

団塊の世代【1946年（昭和21年）～1950年（昭和25年）生まれ】の皆さまは、4年後の2025年には75歳以上になり、後期高齢期を迎えられます。

一般的に、後期高齢期になると、徐々に医療や介護が必要となり、これまでとは違う生活や暮らし方を選択せざるを得ない場合があります。また、介護人材や介護施設の不足などの課題が多くある中で、介護サービスの利用がさらに増えると予想され、団塊世代の「介護」に関する考えや行動は、今後の介護保険制度に影響を与えると思われる。

このアンケート調査では、団塊世代にあたる皆さまの「介護が必要になった時\*」にどうするのかや「生き方・しまい方」に関してのお考えをお尋ねいたします。お答えいただける範囲での回答をお願いいたします。いただきました回答を基に、これからの介護保険制度施策への提言を行い、円滑で適正なサービスの利用につながるような支援を提案していきます。

なお、ご回答は個人が特定されないように、すべて統計的に処理し、調査用紙はプライバシー保護に十分に配慮し、集計・統計的処理の後は厳正に廃棄いたします。

\*「介護が必要になった時」とは、認知症や身体が不自由になるなど、一人で日常生活がむずかしくなり、掃除・洗濯、食事作り、排せつ、入浴、買い物、通院、金銭管理などに誰かの手助けが必要になった状況です。

◆この調査で回答をお願いする団塊の世代は、1946年（昭和21年）～1950年（昭和25年）の5年間に生まれた方とさせていただきます。

◆介護保険法施行【2000年（平成12年）】以後に介護専門職を経験された方や、現在介護専門職の方は、介護保険のことをよくご存知だと思いますので、回答をお控えください。

※調査は調査票のほか、右のQRコードを読み取っていただき、オンラインフォームからも回答していただけます。



問合わせ先：高齢社会をよくする女性の会・大阪  
E-mail：wabas-osaka@mbm.nifty.com  
URL：http://wabas-osaka.life.cocacn.jp/  
連絡先：植本 眞砂子 090-3033-6066

アンケートの回答をもって、調査研究へのご協力を同意していただいたものとさせていただきます。  
※この調査は「令和3年度大阪市ボランティア活動振興基金」の助成を受けて実施しています。

アンケートへのご回答をよろしくお願いいたします

（締切：2021年9月30日）

## 団塊世代の暮らしと介護に関する意識・実態調査

### I あなたについて お聞かせください (あてはまるものに○をつけてください)



- 問1 あなたの性別を教えてください。
1. 男性
  2. 女性
  3. 答えなし

- 問2 家族構成について教えてください。
1. 1人暮らし (単身)
  2. 同居の人がいる
  3. 答えなし

- 問3 あなたの介護経験について教えてください。
1. 経験したことがある
  2. 経験したことがない
  3. 現在、介護をしている

- 問4 あなたの生活を支えている主たるもの、2つまで○をつけてください。
1. 自分の就労等による収入
  2. 配偶者の就労等による収入
  3. 公的年金 (国民年金や厚生年金・共済年金)
  4. 貯蓄または退職金の取り崩し
  5. その他 ( )

- 問5 現在参加している活動について、主なものすべてに○をつけてください。
1. 趣味の会
  2. 健康増進のための活動
  3. ボランティア活動
  4. 自治会活動
  5. 市民活動
  6. 活動があることを知らない
  7. 参加していない
  8. その他 ( )

### II あなたの介護について お考えをお聞かせください

- 問6 あなたに介護が必要になると思われる年齢、1つに○をつけてください。
1. 75歳以上
  2. 80歳以上
  3. 85歳以上
  4. 90歳以上
  5. 95歳以上
  6. 100歳以上
  7. 考えていない
  8. すでに要介護状態である ( 歳から )

- 問7 あなたに介護が必要になった時の心配として、あてはまるもの3つまで○をつけてください。
1. 介護は誰にしてもらうのか
  2. 介護にかかる費用はいくらかかるのか
  3. 認知症になったらどうするのかわからない
  4. 介護保険サービスは使えるのか
  5. 老人ホーム (施設) を探さなければならぬのか
  6. 介護サービスはどのようなものがあるのか
  7. 相談は誰に (どこに) するのかわからない
  8. 自分の介護のことは心配していない (すでに○をされた方は問8へ進んでください)
  9. その他 ( )

- 問8 問7で「8. 自分の介護のことは心配していない」に○をつけた方は、その理由としてあてはまるもの、すべてに○をつけてください。

1. まだ元気で、趣味や社会活動などについて考える暇がない
2. 配偶者 (妻・夫) がいるから大丈夫
3. 子どもや孫 (家族) がいるので、介護は頼める
4. 困ったら市役所に問い合わせればよい
5. 要介護状態になった自分を想像したくない
6. 現在、家族介護中で、自分のことを考える余裕がない
7. 現役で働いているので考えていない
8. その他 ( )

- 問9 あなたに介護が必要になった時、希望する介護について、1つに○をつけてください。
1. 家族だけによる介護 (すでに○をされた方は問10へ進んでください)
  2. 家族の介護と、介護保険サービスの併用
  3. 介護保険サービスのみの利用
  4. 施設入所

- 問10 問9で「1. 家族だけによる介護」に○をつけた方は、理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。
1. 他人に世話をしてほしいくない
  2. 家族が世話するのは当然だ
  3. 施設に入所するのはいやだ
  4. 介護保険の利用は経済的にもありがたい
  5. その他 ( )

- 問11 問9と問10の選択に関して、あてはまるもの1つに○をつけてください。
1. 自分の意志で決定できる
  2. 自分の意志だけでは難しい
  3. 何とかなると思う
  4. わからない

- 問12 あなたに介護が必要になった場合、「介護保険サービス」を利用しようとする理由として、あてはまるもの3つまで○をつけてください。
- また、現在「介護保険サービス」を利用されている場合には、その利用に関して、あてはまるもの3つまで○をつけてください。
1. 制度としてあるから、必要があれば当然利用する
  2. 生活していくために、サービスの利用が必要だ
  3. 介護保険料を払っているのだから、サービスを当然利用する
  4. 介護の専門職からサービスを受けたいから、利用する
  5. 家族には世話をされたくないから、利用する
  6. 家族の負担を軽減したいから、利用する
  7. その他 ( )

問 13 あなたが介護を受ける際の介護専門職の性別に対する希望として、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 同性が良い
2. 性別にはこだわりがない
3. わからない
4. サービス内容によって希望が変わる

問 14 あなたがこれから生活していくうえで、介護だけでなく、その他の事でも困ったときの支援や援助を頼む場合、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 気軽にためらわずに頼む
2. 頼るのはためらいがある
3. よほど困った時でないとは頼らない
4. 頼らない
5. その時になってみないとわからない

### III 介護保険について あなたが知っていることをお聞きかせください

問 15 介護保険サービスを利用する時の手順について、あなたが知っているもの、すべてに○をつけてください。

1. 市町村や地域包括支援センターへの相談・申請が必要である
2. 「要支援・要介護」などの介護認定を受ける
3. サービス利用には本人とサービス事業者との「契約」が必要である
4. ケアマネジャーがケアプランを作成する
5. 介護認定の要介護度によって利用できるサービスが違ふ
6. 介護費や所得によって支払う利用料が違ふ
7. 何も知らない

問 16 介護保険サービスの種類であなたが知っているもの、すべてに○をつけてください。

1. ヘルパーによる訪問介護（生活援助・身体介護）
2. 訪問入浴
3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション
5. 通所介護（デイサービス・デイケア）
6. 福祉用具貸与（レンタル）
7. 施設入所（特別養護老人ホーム・グループホームなど）
8. 住宅改修
9. その他（ ）
10. 何も知らない

問 17 3 年に一度見直される介護保険料について、あなたの考えとして、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 充実した介護サービスを受けられるのなら、保険料が上がることはやむを得ない
2. 保険料が上がらないのなら、介護サービスの質・量が低下してもやむを得ない
3. これ以上保険料を上げないために、国・自治体の負担額を増やす
4. わからない
5. その他（ ）

### IV あなたの人生のしまい方について お聞きかせください

問 18 あなたの「人生のしまい方」について、考えたことがありますか？

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家族と話し合ったことがある
2. 友人・知人と話し合ったことがある
3. インディングノートやリビングウィルに書いている
4. 考えたことがない
5. 考えたくない
6. その他（ ）

問 19 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか？あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 自宅
2. 病院
3. 施設
4. 考えたことがない
5. 考えたくない
6. その他（ ）

問 20 問 19 の選択は自分の意志で決定することができますか？

あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 自分の意志で決定できる
2. 自分の意志だけでは難しい
3. 誰かが何とかしてくれると思う
4. わからない

問 21 コロナ禍であなたの「人生のしまい方」についてのお考えに変化はありましたか？

あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1. 大いにあった
2. 少しあった
3. 変わらない
4. わからない

⇒「1」「2」に○をつけた方は、その変化についてお書きください。

<家族や自分の介護、介護保険制度等についての疑問、ご意見があれば自由にお書きください。>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。  
この用紙は厳重に保管し、本研究の終了とともに速やかに廃棄します。  
<この調査は、大阪市ボランティア活動振興基金の助成を受けて実施しています。>

## 2. 集計データ

\* 問5・問7・問12・問15・問16・問18は複数回答のため合計「割合」は総回答に占める割合を示す。

\* 割合(%)は小数点第2位を四捨五入した。そのため、合計が100%にならない場合がある。

| No | 問              | 答      | 実数  | 割合    |
|----|----------------|--------|-----|-------|
| 1  | あなたの性別を教えてください | 1 男性   | 176 | 45.5  |
|    |                | 2 女性   | 210 | 54.2  |
|    |                | 3 答えない | 1   | 0.3   |
|    |                | 99 無記入 | 0   | 0.0   |
|    |                | 合計     | 387 | 100.0 |

| No | 問   | 答                       | 1 男性 |       | 2 女性 |       | 3 答えない |       | 合計  |       |
|----|---|-------------------------|------|-------|------|-------|--------|-------|-----|-------|
|    |   |                         | 実数   | 割合    | 実数   | 割合    | 実数     | 割合    | 実数  | 割合    |
| 2  | 家族構成について教えてください                           | 1 1人暮らし(単身)             | 14   | 3.6   | 58   | 15.0  | 0      | 0.0   | 72  | 18.6  |
|    |   | 2 同居の人がいる               | 161  | 41.6  | 152  | 39.3  | 1      | 0.3   | 314 | 81.1  |
|    |   | 3 答えない                  | 0    | 0.0   | 0    | 0.0   | 0      | 0.0   | 0   | 0.0   |
|    |   | 99 無記入                  | 1    | 0.3   | 0    | 0.0   | 0      | 0.0   | 1   | 0.3   |
|    |   | 合計                      | 176  | 45.5  | 210  | 54.3  | 1      | 0.3   | 387 | 100.0 |
| 3  | あなたの介護経験について教えてください                       | 1 経験したことがある             | 60   | 34.1  | 123  | 58.6  | 0      | 0.0   | 183 | 47.3  |
|    |   | 2 経験したことがない             | 103  | 58.5  | 70   | 33.3  | 1      | 100.0 | 174 | 45.0  |
|    |   | 3 現在、介護をしている            | 11   | 6.3   | 15   | 7.1   | 0      | 0.0   | 26  | 6.7   |
|    |   | 99 無記入                  | 2    | 1.1   | 2    | 1.0   | 0      | 0.0   | 4   | 1.0   |
|    |   | 合計                      | 176  | 100.0 | 210  | 100.0 | 1      | 100.0 | 387 | 100.0 |
| 4  | あなたの生活を支えている主たるもの、2つまで○をつけてください           | 1 自分の就労等による収入           | 38   |       | 42   |       | 0      |       | 80  |       |
|    |   | 2 配偶者の就労等による収入          | 11   |       | 21   |       | 0      |       | 32  |       |
|    |   | 3 公的年金(国民年金や厚生年金・共済年金)  | 165  |       | 191  |       | 1      |       | 357 |       |
|    |   | 4 貯蓄または退職金の取り崩し         | 54   |       | 62   |       | 0      |       | 116 |       |
|    |   | 5 その他                   | 7    |       | 11   |       | 0      |       | 18  |       |
|    |   | 99 無記入                  | 0    |       | 0    |       | 0      |       | 0   |       |
| 合計 | 275                                       |                         | 327  |       | 1    |       | 603    |       |     |       |
| 5  | 現在参加している活動について、主なものをすべてに○をつけてください         | 1 趣味の会                  | 64   |       | 87   |       | 0      |       | 151 | 23.6  |
|    |   | 2 健康増進のための活動            | 43   |       | 69   |       | 0      |       | 112 | 17.5  |
|    |   | 3 ボランティア活動              | 45   |       | 83   |       | 0      |       | 128 | 20.1  |
|    |   | 4 自治会活動                 | 44   |       | 39   |       | 0      |       | 83  | 13.0  |
|    |   | 5 市民活動                  | 23   |       | 38   |       | 0      |       | 61  | 9.6   |
|    |   | 6 活動があることを知らない          | 0    |       | 1    |       | 0      |       | 1   | 0.2   |
|    |   | 7 参加していない               | 36   |       | 28   |       | 1      |       | 65  | 10.2  |
|    |   | 8 その他                   | 16   |       | 17   |       | 0      |       | 33  | 5.2   |
|    |   | 99 無記入                  | 2    |       | 2    |       | 0      |       | 4   | 0.6   |
|    |   | 合計                      | 273  |       | 364  |       | 1      |       | 638 | 100.0 |
| 6  | あなたに介護が必要になると思われる年齢、1つに○をつけてください          | 1 75歳以上                 | 24   | 13.6  | 15   | 7.1   | 0      | 0.0   | 39  | 10.1  |
|    |   | 2 80歳以上                 | 55   | 31.3  | 76   | 36.2  | 1      | 100.0 | 132 | 34.1  |
|    |   | 3 85歳以上                 | 59   | 33.5  | 74   | 35.2  | 0      | 0.0   | 133 | 34.4  |
|    |   | 4 90歳以上                 | 12   | 6.8   | 20   | 9.5   | 0      | 0.0   | 32  | 8.3   |
|    |   | 5 95歳以上                 | 1    | 0.6   | 2    | 1.0   | 0      | 0.0   | 3   | 0.8   |
|    |   | 6 100歳以上                | 0    | 0.0   | 1    | 0.5   | 0      | 0.0   | 1   | 0.3   |
|    |   | 7 考えていない                | 21   | 11.9  | 17   | 8.1   | 0      | 0.0   | 38  | 9.8   |
|    |   | 8 すでに要介護状態である           | 4    | 2.3   | 3    | 1.4   | 0      | 0.0   | 7   | 1.8   |
|    |   | 99 無記入                  | 0    | 0.0   | 2    | 1.0   | 0      | 0.0   | 2   | 0.5   |
|    |   | 合計                      | 176  | 100.0 | 210  | 100.0 | 1      | 100.0 | 387 | 100.0 |
| 7  | あなたに介護が必要になった時の心配として、あてはまるもの3つまで○をつけてください | 1 介護は誰にしてもらうのか          | 91   |       | 83   |       | 0      |       | 174 | 18.6  |
|    |   | 2 介護にかかる費用はいくらかかるのか     | 79   |       | 115  |       | 0      |       | 194 | 20.7  |
|    |   | 3 認知症になったらどうするのか        | 110  |       | 138  |       | 1      |       | 249 | 26.6  |
|    |   | 4 介護保険サービスは使えるのか        | 14   |       | 31   |       | 0      |       | 45  | 4.8   |
|    |   | 5 老人ホーム(施設)を探さなければならないか | 43   |       | 66   |       | 0      |       | 109 | 11.6  |
|    |   | 6 介護サービスはどのようなものがあるのか   | 33   |       | 32   |       | 0      |       | 65  | 6.9   |
|    |   | 7 相談は誰に(どこに)するのか        | 24   |       | 22   |       | 0      |       | 46  | 4.9   |
|    |   | 8 自分の介護のことは心配していない      | 27   |       | 17   |       | 0      |       | 44  | 4.7   |
|    |   | 9 その他                   | 4    |       | 6    |       | 0      |       | 10  | 1.1   |
|    |   | 99 無記入                  | 0    |       | 1    |       | 0      |       | 1   | 0.1   |
| 合計 | 425                                       |                         | 511  |       | 1    |       | 937    | 100.0 |     |       |

| No | 問  | 答  | 1 男性                        |     | 2 女性  |     | 3 答えない |    | 合計    |     |       |
|----|--|----|-----------------------------|-----|-------|-----|--------|----|-------|-----|-------|
|    |  |    | 実数                          | 割合  | 実数    | 割合  | 実数     | 割合 | 実数    | 割合  |       |
| 8  | 問7で「8. 自分のことは心配していない」に○をつけた方は、その理由としてあてはまるもの、すべてに○をつけてください   | 1  | まだ元気で、趣味や社会活動などに忙しくて考える暇がない | 11  |       | 6   |        | 0  |       | 17  |       |
|    |  | 2  | 配偶者(妻・夫)がいるから大丈夫            | 12  |       | 2   |        | 0  |       | 14  |       |
|    |  | 3  | 子どもや孫(家族)がいるので、介護は頼める       | 7   |       | 6   |        | 0  |       | 13  |       |
|    |  | 4  | 困ったら市役所に問い合わせればいい           | 2   |       | 1   |        | 0  |       | 3   |       |
|    |  | 5  | 要介護状態になった自分を想像したくない         | 4   |       | 2   |        | 0  |       | 6   |       |
|    |  | 6  | 現在、家族介護中で、自分のことを考える余裕がない    | 2   |       | 2   |        | 0  |       | 4   |       |
|    |  | 7  | 現役で働いているので考えていない            | 4   |       | 1   |        | 0  |       | 5   |       |
|    |  | 8  | その他                         | 3   |       | 4   |        | 0  |       | 7   |       |
|    |  | 99 | 無記入                         | 1   |       | 0   |        | 0  |       | 1   |       |
|    |  |    | 合計                          | 46  |       | 24  |        | 0  |       | 70  |       |
| 9  | あなたに介護が必要になった時、希望する介護について、1つに○をつけてください   | 1  | 家族だけによる介護                   | 6   | 3.4   | 0   | 0.0    | 0  | 0.0   | 6   | 1.6   |
|    |  | 2  | 家族の介護と、介護保険サービスの併用          | 100 | 56.8  | 93  | 44.3   | 1  | 100.0 | 194 | 50.1  |
|    |  | 3  | 介護保険サービスのみの利用               | 24  | 13.6  | 60  | 28.6   | 0  | 0.0   | 84  | 21.7  |
|    |  | 4  | 施設入所                        | 37  | 21.0  | 55  | 26.2   | 0  | 0.0   | 92  | 23.8  |
|    |  | 99 | 無記入                         | 9   | 5.1   | 2   | 1.00   | 0  | 0.0   | 11  | 2.8   |
|    |  |    | 合計                          | 176 | 100.0 | 210 | 100.0  | 1  | 100.0 | 387 | 100.0 |
| 10 | 問9で「1. 家族だけによる介護」に○をつけた方は、理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください   | 1  | 他人に世話をしてほしいくない              | 1   |       | 0   |        | 0  |       | 1   |       |
|    |  | 2  | 家族が世話をするのは当然だ               | 0   |       | 0   |        | 0  |       | 0   |       |
|    |  | 3  | 施設に入所するのはいやだ                | 2   |       | 0   |        | 0  |       | 2   |       |
|    |  | 4  | 介護保険の利用は経済的なこともあり控えたい       | 1   |       | 0   |        | 0  |       | 1   |       |
|    |  | 5  | その他                         | 1   |       | 0   |        | 0  |       | 1   |       |
|    |  | 99 | 無記入                         | 1   |       | 0   |        | 0  |       | 1   |       |
|    |  |    | 合計                          | 6   |       | 0   |        | 0  |       | 6   |       |
| 11 | 問9と問10の選択に関して、あてはまるもの1つに○をつけてください  | 1  | 自分の意志で決定できる                 | 48  | 27.3  | 86  | 41.0   | 0  | 0.0   | 134 | 34.6  |
|    |  | 2  | 自分の意志だけでは難しい                | 67  | 38.1  | 70  | 33.3   | 0  | 0.0   | 137 | 35.4  |
|    |  | 3  | 何とかかなと思う                    | 30  | 17.0  | 18  | 8.6    | 0  | 0.0   | 48  | 12.4  |
|    |  | 4  | わからない                       | 9   | 5.1   | 15  | 7.1    | 0  | 0.0   | 24  | 6.2   |
|    |  | 99 | 無記入                         | 22  | 12.5  | 21  | 10.0   | 1  | 100.0 | 44  | 11.4  |
|    |  |    | 合計                          | 176 | 100.0 | 210 | 100.0  | 1  | 100.0 | 387 | 100.0 |
| 12 | あなたに介護が必要になった場合、「介護保険サービス」を利用しようとする理由として、あてはまるもの3つまで○をつけてください。また、現在「介護保険サービス」を利用されている場合には、その利用に関して、あてはまるもの3つまで○をつけてください。 | 1  | 制度としてあるから、必要があれば当然利用する      | 107 |       | 135 |        | 1  |       | 243 | 24.5  |
|    |  | 2  | 生活していくために、サービスの利用が必要だ       | 68  |       | 111 |        | 0  |       | 179 | 18.0  |
|    |  | 3  | 介護保険料を払っているのだから、サービスを当然利用する | 54  |       | 58  |        | 0  |       | 112 | 11.3  |
|    |  | 4  | 介護の専門職からサービスを受けたいから、利用する    | 64  |       | 86  |        | 0  |       | 150 | 15.1  |
|    |  | 5  | 家族には世話をされたくないから、利用する        | 14  |       | 8   |        | 0  |       | 22  | 2.2   |
|    |  | 6  | 家族の負担を軽くしたいから、利用する          | 122 |       | 142 |        | 1  |       | 265 | 26.7  |
|    |  | 7  | その他                         | 5   |       | 5   |        | 0  |       | 10  | 1.0   |
|    |  | 99 | 無記入                         | 7   |       | 5   |        | 0  |       | 12  | 1.2   |
|    |  |    | 合計                          | 441 |       | 550 |        | 2  |       | 993 | 100.0 |
| 13 | あなたが介護を受ける際の介護専門職の性別に対する希望として、あてはまるもの1つに○をつけてください  | 1  | 同性が良い                       | 6   | 3.4   | 113 | 53.8   | 0  | 0.0   | 119 | 30.7  |
|    |  | 2  | 性別にはこだわらない                  | 128 | 72.7  | 19  | 9.0    | 1  | 100.0 | 148 | 38.2  |
|    |  | 3  | わからない                       | 14  | 8.0   | 3   | 1.4    | 0  | 0.0   | 17  | 4.4   |
|    |  | 4  | サービス内容によって希望が変わる            | 23  | 13.1  | 71  | 33.8   | 0  | 0.0   | 94  | 24.3  |
|    |  | 99 | 無記入                         | 5   | 2.8   | 4   | 1.9    | 0  | 0.0   | 9   | 2.3   |
|    |  |    | 合計                          | 176 | 100.0 | 210 | 100.0  | 1  | 100.0 | 387 | 100.0 |
| 14 | あなたがこれから生活していくうえで、介護だけでなく、その他の事でも困ったときの支援や援助を頼む場合、あてはまるもの1つに○をつけてください  | 1  | 気軽にためらわずに頼る                 | 47  | 26.7  | 64  | 30.5   | 0  | 0.0   | 112 | 28.9  |
|    |  | 2  | 頼るのはためらいがある                 | 13  | 7.4   | 16  | 7.6    | 1  | 100.0 | 29  | 7.5   |
|    |  | 3  | よほど困った時でないと頼らない             | 57  | 32.4  | 58  | 27.6   | 0  | 0.0   | 115 | 29.7  |
|    |  | 4  | 頼らない                        | 1   | 0.6   | 1   | 0.5    | 0  | 0.0   | 2   | 0.5   |
|    |  | 5  | その時になってみないとわからない            | 53  | 30.1  | 68  | 32.4   | 0  | 0.0   | 121 | 31.3  |
|    |  | 99 | 無記入                         | 5   | 2.8   | 3   | 1.4    | 0  | 0.0   | 8   | 2.1   |
|    |  |    | 合計                          | 176 | 100.0 | 210 | 100.0  | 1  | 100.0 | 387 | 100.0 |

| No | 問  | 答                                      | 1 男性 |       | 2 女性 |       | 3 答えない |       | 合計   |       |
|----|--|--|------|-------|------|-------|--------|-------|------|-------|
|    |  |  | 実数   | 割合    | 実数   | 割合    | 実数     | 割合    | 実数   | 割合    |
| 15 | 介護保険サービスを利用する時の手順について、あなたが知っているもの、すべてに○をつけてください          | 1 市町村や地域包括支援センターへの相談・申請が必要である          | 119  |       | 169  |       | 1      |       | 289  | 16.2  |
|    |  | 2 「要支援・要介護」などの介護認定を受ける                 | 136  |       | 194  |       | 1      |       | 331  | 18.6  |
|    |  | 3 サービス利用には本人とサービス事業者との「契約」が必要である       | 95   |       | 146  |       | 0      |       | 241  | 13.5  |
|    |  | 4 ケアマネジャーがケアプランを作成する                   | 128  |       | 178  |       | 1      |       | 307  | 17.2  |
|    |  | 5 介護認定の要介護度によって利用できるサービスが違う            | 122  |       | 184  |       | 1      |       | 307  | 17.2  |
|    |  | 6 介護度や所得によって支払う利用料が違う                  | 107  |       | 159  |       | 1      |       | 267  | 14.9  |
|    |  | 7 何も知らない                               | 20   |       | 10   |       | 0      |       | 30   | 1.7   |
|    |  | 99 無記入                                 | 9    |       | 3    |       | 0      |       | 12   | 0.7   |
|    |  | 合計                                     | 736  |       | 1043 |       | 5      |       | 1784 | 100.0 |
| 16 | 介護保険サービスの種類であなたが知っているもの、すべてに○をつけてください                    | 1 ヘルパーによる訪問介護（生活援助・身体介護）               | 153  |       | 189  |       | 1      |       | 343  | 14.4  |
|    |  | 2 訪問入浴                                 | 117  |       | 178  |       | 1      |       | 296  | 12.5  |
|    |  | 3 訪問看護                                 | 118  |       | 177  |       | 1      |       | 296  | 12.5  |
|    |  | 4 訪問リハビリテーション                          | 78   |       | 134  |       | 1      |       | 213  | 9.0   |
|    |  | 5 通所介護（デイサービス・デイケア）                    | 146  |       | 194  |       | 1      |       | 341  | 14.3  |
|    |  | 6 福祉用具貸与（レンタル）                         | 128  |       | 183  |       | 1      |       | 312  | 13.1  |
|    |  | 7 施設入所（特別養護老人ホーム・グループホームなど）            | 121  |       | 165  |       | 0      |       | 286  | 12.0  |
|    |  | 8 住宅改修                                 | 96   |       | 163  |       | 0      |       | 259  | 11.0  |
|    |  | 9 その他                                  | 0    |       | 7    |       | 0      |       | 7    | 0.2   |
|    |  | 10 何も知らない                              | 9    |       | 3    |       | 0      |       | 12   | 0.5   |
|    |  | 99 無記入                                 | 8    |       | 4    |       | 0      |       | 12   | 0.5   |
| 合計 | 974  |  | 1397 |       | 6    |       | 2377   | 100.0 |      |       |
| 17 | 3年に一度見直される介護保険料について、あなたの考えとして、あてはまるもの1つに○をつけてください        | 1 充実した介護サービスを受けられるのなら、保険料が上がることはやむを得ない | 49   | 27.8  | 60   | 28.6  | 1      | 100.0 | 110  | 28.4  |
|    |  | 2 保険料が上がらないのなら、介護サービスの質・量が低下してもやむを得ない  | 2    | 1.1   | 8    | 3.8   | 0      | 0.0   | 10   | 2.6   |
|    |  | 3 これ以上保険料を上げないために、国・自治体の負担額を増やす        | 100  | 56.8  | 108  | 51.4  | 0      | 0.0   | 208  | 53.7  |
|    |  | 4 わからない                                | 13   | 7.4   | 13   | 6.2   | 0      | 0.0   | 26   | 6.7   |
|    |  | 5 その他                                  | 5    | 2.8   | 12   | 5.7   | 0      | 0.0   | 17   | 4.4   |
|    |  | 99 無記入                                 | 7    | 4.0   | 9    | 4.3   | 0      | 0.0   | 16   | 4.1   |
|    |  | 合計                                     | 176  | 100.0 | 210  | 100.0 | 1      | 100.0 | 387  | 100.0 |
| 18 | あなたの「人生のしまい方」について考えたことがありますか？あてはまるものすべてに○をつけてください        | 1 家族と話し合ったことがある                        | 71   |       | 82   |       | 0      |       | 153  | 30.8  |
|    |  | 2 友人・知人と話し合ったことがある                     | 29   |       | 102  |       | 1      |       | 132  | 26.6  |
|    |  | 3 エンディングノートやリビングウィルに書いている              | 25   |       | 29   |       | 0      |       | 54   | 11.0  |
|    |  | 4 考えたことがない                             | 57   |       | 22   |       | 0      |       | 79   | 16.0  |
|    |  | 5 考えたくない                               | 16   |       | 8    |       | 0      |       | 24   | 4.8   |
|    |  | 6 その他                                  | 19   |       | 26   |       | 0      |       | 45   | 9.0   |
|    |  | 99 無記入                                 | 3    |       | 6    |       | 0      |       | 9    | 1.8   |
| 合計 | 220  |  | 275  |       | 1    |       | 496    | 100.0 |      |       |
| 19 | あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか？あてはまるもの1つに○をつけてください              | 1 自宅                                   | 77   | 43.8  | 102  | 48.6  | 0      | 0.0   | 179  | 46.3  |
|    |  | 2 病院                                   | 25   | 14.2  | 30   | 14.3  | 1      | 100.0 | 56   | 14.5  |
|    |  | 3 施設                                   | 13   | 7.4   | 25   | 11.9  | 0      | 0.0   | 38   | 9.8   |
|    |  | 4 考えたことがない                             | 39   | 22.2  | 16   | 7.6   | 0      | 0.0   | 55   | 14.2  |
|    |  | 5 考えたくない                               | 7    | 4.0   | 6    | 2.9   | 0      | 0.0   | 13   | 3.4   |
|    |  | 6 その他                                  | 13   | 7.4   | 26   | 12.4  | 0      | 0.0   | 39   | 10.1  |
|    |  | 99 無記入                                 | 2    | 1.1   | 5    | 2.4   | 0      | 0.0   | 7    | 1.8   |
| 合計 | 176  | 100.0                                  | 210  | 100.0 | 1    | 100.0 | 387    | 100.0 |      |       |
| 20 | 問19の選択は自分の意志で決定することができますか？あてはまるもの1つに○をつけてください            | 1 自分の意志で決定できる                          | 57   | 32.4  | 88   | 41.9  | 1      | 100.0 | 146  | 37.7  |
|    |  | 2 自分の意志だけでは難しい                         | 87   | 49.4  | 95   | 45.2  | 0      | 0.0   | 182  | 47.0  |
|    |  | 3 誰かが何とかしてくれると思う                       | 7    | 4.0   | 6    | 2.9   | 0      | 0.0   | 13   | 3.4   |
|    |  | 4 わからない                                | 22   | 12.5  | 17   | 8.1   | 0      | 0.0   | 39   | 10.1  |
|    |  | 99 無記入                                 | 3    | 1.7   | 4    | 1.9   | 0      | 0.0   | 7    | 1.8   |
| 合計 | 176  | 100.0                                  | 210  | 100.0 | 1    | 100.0 | 387    | 100.0 |      |       |
| 21 | コロナ禍であなたの「人生のしまい方」についてのお考えに変化はありましたか？あてはまるもの1つに○をつけてください | 1 大いにあった                               | 8    | 4.5   | 13   | 6.2   | 0      | 0.0   | 21   | 5.4   |
|    |  | 2 少しあった                                | 32   | 18.2  | 57   | 27.1  | 0      | 0.0   | 89   | 23.0  |
|    |  | 3 変わらない                                | 118  | 67.0  | 126  | 60.0  | 1      | 100.0 | 245  | 63.3  |
|    |  | 4 わからない                                | 15   | 8.5   | 8    | 3.8   | 0      | 0.0   | 23   | 5.9   |
|    |  | 99 無記入                                 | 3    | 1.7   | 6    | 2.9   | 0      | 0.0   | 9    | 2.3   |
| 合計 | 176  | 100.0                                  | 210  | 100.0 | 1    | 100.0 | 387    | 100.0 |      |       |

令和3年度大阪市ボランティア活動振興基金助成事業

## 団塊世代の暮らしと介護に関する 意識・実態調査報告書

2022年3月発行

発行：高齢社会をよくする女性の会・大阪

代表：植本 眞砂子

〒543-0028 大阪府大阪市天王寺区小橋町9-13-501 (田代方)

Tel/Fax : 06-6762-0550

E-mail : wabas-osaka@mbm.nifty.com

HP : <http://wabas-osaka.life.coocan.jp/>